

# 事 業 概 要

令和2年度



長 野 県

上田食肉衛生検査所

松本食肉衛生検査所

長野食肉衛生検査所

# 目 次

## 第1章 総説

I 食肉衛生検査所の沿革	1
II 食肉衛生検査所の概要	2
1 組織機構	2
2 施設の設置状況等	2
3 管轄と畜場・食鳥処理場等	3
(1)管轄区域・と畜場・食鳥処理場	
(2)配置図	
(3)と畜場開場日	
4 職員構成	5
5 業務・事務	5
6 と畜等検査手数料	7
7 と畜検査業務のフローシート	8
8 検査所別詳細（平面図・案内図・主要検査備品）	9
(1)上田食肉衛生検査所	
(2)松本食肉衛生検査所	
(3)長野食肉衛生検査所	

## 第2章 食肉検査統計

### I 全県統計

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）	15
第2表 獣畜のとさつ・解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分・検査所別）	16
第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳（検査所別）	17
第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳（検査所別）	18
第5表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病・検査所別）	19
第6表 動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目・検査所別）	21
第7表 時間外と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）	22
第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況	23
第9表 動物由来感染症実態調査実施状況	24

### II 食肉衛生検査所別統計

#### 1 上田食肉衛生検査所

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	25
第2表 獣畜のとさつ・解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	26
第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	27
第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	28
第5表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	29
第6表 動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	31
第7表 時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	32
第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況	33
第9表 動物由来感染症実態調査実施状況	34

## 2 松本食肉衛生検査所

第1表	と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	35
第2表	獣畜のとさつ禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	36
第3表	牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	37
第4表	豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	38
第5表	精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	39
第6表	動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	41
第7表	時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	42
第8表	伝達性海綿状脳症検査実施状況	43
第9表	動物由来感染症実態調査実施状況	44

## 3 長野食肉衛生検査所

第1表	と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）	45
第2表	獣畜のとさつ禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分別）	46
第3表	牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	47
第4表	豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳	48
第5表	精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）	49
第6表	動物用医薬品等の残留検査実施状況（畜種・検査項目別）	51
第7表	時間外と畜検査頭数（畜種・月別）	52
第8表	伝達性海綿状脳症検査実施状況	53
第9表	動物由来感染症実態調査実施状況	54

## 第3章 食鳥検査統計

第1表	認定小規模食鳥処理場確認状況（月・検査所別）	55
-----	------------------------	----

## 第4章 リスクコミュニケーション事業

第1表	リスクコミュニケーション事業実施状況	57
-----	--------------------	----

## 第5章 調査研究業績

- ・と畜場に搬入された乳用牛の地方病型牛伝染性リンパ腫の発生状況について
- ・と畜検査における緬羊の眼房水からの血漿生化学値の推定

## 第6章 参考資料

I	と畜検査頭数の推移	66
II	廃棄処分頭数の推移	69
III	長野県のと畜場統廃合整備のあゆみ	71

# 第 1 章 総 説

## I 食肉衛生検査所の沿革

食肉衛生行政の発足は、明治4年屠牛取締法を定める大蔵省布達38号によって始まり、明治22年6月に屠獣場取締規則の施行によって警察の行政下に置かれた。その後、明治39年4月、屠場法が制定公布されて以来、と畜検査の具体的な取締りが行われるようになり、さらに大正2年5月には「と畜検査心得」が示され実践的な現場検査はこれに基づき実施されてきた。

また、昭和22年9月からは新憲法の基本理念に基づいて衛生行政機構の改善と強化が図られ、その一環として保健所の行政組織下に置かれた。

昭和28年には社会情勢に対応するため法律の全面改正により、と畜場法が制定公布され今日に至っている。

昭和30～40年代、食肉および食肉製品の急激な需要増加に伴って畜産経営の形態も多頭飼育に移行し、家畜疾病の様相も多岐にわたってきた。これら疾病に対する予防や治療の技術も昨今はめざましい進歩を遂げ、抗生物質・合成抗菌剤等の動物医薬品などの使用も目立ってきたことから、これらに対応する食肉検査には、新しい知識と高度な科学技術が要求され、その専門の検査機関として全国的に食肉衛生検査所が設立される趨勢となった。

本県においては、と畜場統合整備計画が昭和42年に制定され、県議会をはじめ関係市町村、業界団体等のご理解のもとに推進し、併せて県政発展計画の一環として食肉衛生検査所の設置計画を樹立し、昭和47年4月に松本に同検査所が設置され、その後、上田・飯田・長野とそれぞれ同検査所が設置された。

平成27年3月に(株)長野県食肉公社飯田支社が閉鎖されたことに伴い、同年3月31日をもって飯田食肉衛生検査所は閉所された。

令和3年4月1日に松本市が中核市に移行することに伴い、同年3月31日をもって松本食肉衛生検査所は閉所された。

令和3年3月31日に佐久広域食肉流通センターが閉鎖されたことに伴い、同年3月31日をもって上田食肉衛生検査所は閉所された。

### 県内検査所の主な沿革

昭和47年4月	松本食肉衛生検査所を開所
昭和49年4月	上田食肉衛生検査所を開所
昭和52年4月	飯田食肉衛生検査所を開所
昭和55年4月	長野食肉衛生検査所を開所
平成4年4月	上田食肉衛生検査所を課制とし、食鳥検査を開始
平成22年9月	上田食肉衛生検査所の食鳥検査を終了
平成27年3月	飯田食肉衛生検査所を閉所
令和3年3月	松本食肉衛生検査所及び上田食肉衛生検査所を閉所

## II 食肉衛生検査所の概要

### 1 組織機構 (令和2年4月3日現在)

(長野県組織規則(昭和44年3月31日規則第16号) 第2~3条、第26条、第145~146条)



### 2 施設の設置状況等 (令和2年度)

検査所名	設置場所	設置年月日	敷地面積	建物総床面積	電話番号/F a x
上田食肉 衛生検査所	上田市常磐城3-3-59	昭和49年 4月1日	m <sup>2</sup> 2,212.24	m <sup>2</sup> 655.53	0268-24-7521 0268-28-0304
松本食肉 衛生検査所	松本市大字島内9839	昭和47年 4月1日	m <sup>2</sup> 745.40	m <sup>2</sup> 511.77	0263-47-0470 0263-40-1523
長野食肉 衛生検査所	長野市差出南3-2-29	昭和55年 4月1日	m <sup>2</sup> 991.0	m <sup>2</sup> 468.54	026-227-6209 026-291-6300

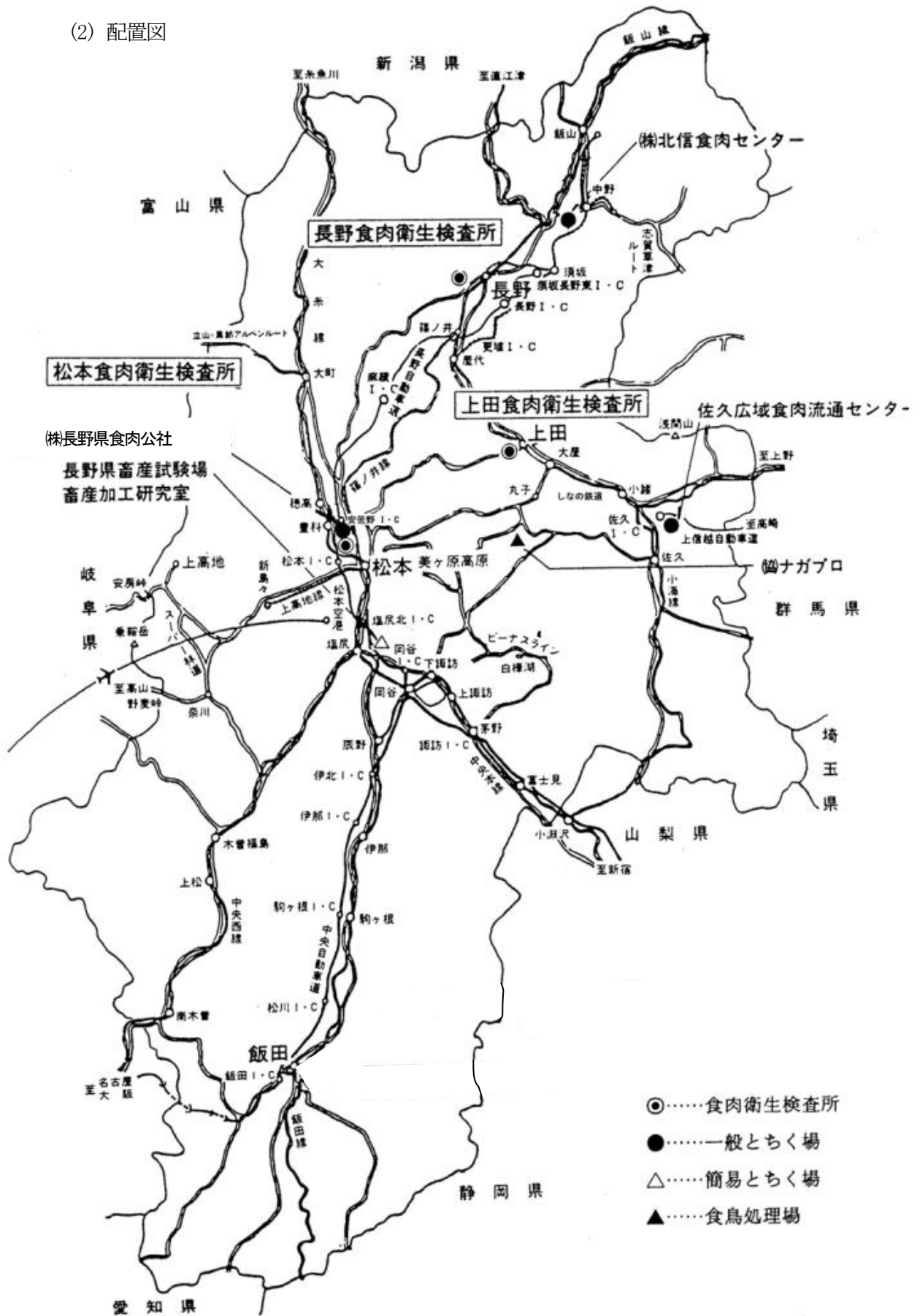
### 3 管轄と畜場・食鳥処理場等（令和2年度）

#### (1) 管轄区域・と畜場・食鳥処理場

検査所名	管轄区域	と畜場・食鳥処理場名	住所・電話番号
上田食肉 衛生検査所	上田市・小諸市・佐久市・ 東御市・南佐久郡・北佐久 郡・小県郡	佐久広域食肉流通センター	佐久市大字長土呂字隠1-1 0267-68-1007
		〔事業協同組合 ナガプロ〕 平成22年9月1日以降、休止。	〔上田市下武石63-2〕 0268-85-2229
松本食肉 衛生検査所	松本市・岡谷市・飯田市・ 諏訪市・伊那市・駒ヶ根 市・大町市・茅野市・塩尻 市・安曇野市・諏訪郡・上 伊那郡・下伊那郡・木曾 郡・東筑摩郡・北安曇郡	(株)長野県食肉公社	松本市大字島内9842 0263-47-1744
		長野県畜産試験場 畜産加工研究室	塩尻市大字片丘10931-1 0263-52-1188
長野食肉 衛生検査所	須坂市・中野市・飯山市・ 千曲市・埴科郡・上高井 郡・下高井郡・上水内郡・ 下水内郡	(株)北信食肉センター	中野市大字草間461-1 0269-22-3250

(管轄区域) 長野県組織規則 第146条関係 別表第15

(2) 配置図





## (3) と畜場開場日

(令和2年度)

と畜場名等	曜日							年間開場 日数	備考
	月	火	水	木	金	土			
佐久広域食肉流通センター	○	○	○	○	○※	—	221	—	
(株)長野県食肉公社	○	○	○	○	○	—	234	◎	
長野県畜産試験場 畜産加工研究室	不 定 期							0	—
(株)北信食肉センター	○	○	○	○	○	—	244	—	

(注) ○印=開場日 ◎印=時間外受付 ※印=病畜のみ受け

## 4 職員構成

(令和2年4月1日現在)

検査所名	総人数	所長	次長 (出納員)	食肉衛生 専門員	主査 事務	主査 獣医師	主任 獣医師	獣医師	会計年度任用職員		
									食肉衛生 検査員	行政 事務員	と畜検査 補助員
上田食肉 衛生検査所	16	1	1	0	0	0	4	1	1	1	7
松本食肉 衛生検査所	23 (3)	1	1	1	1 (1)	1 (1)	3	5 (1)	1	1	8
長野食肉 衛生検査所	14	1	1	1	0	0	2	1	1	1	6

(注) ( )内は松本市研修派遣職員数

## 5 業務・事務

## (1) 業務

食肉衛生検査所は、公衆衛生の向上及び増進を図るため、次の各号に掲げる業務を行うところとする。(長野県組織規則第145条)

- ア と畜検査及びと畜場の指導に関すること。
- イ 食鳥検査及び食鳥処理場等の指導に関すること。
- ウ 輸入食肉の検査に関すること。
- エ 獣医衛生の検査に関すること。

(2) 食肉衛生検査所長に委任された事務処理事項（事務処理規則別表第2抜粋）

○ 庶務に関すること。

- ア 所掌に係わる予算執行
- イ 庁舎その他の行政財産の管理及び庁中取締り
- ウ 物品及び借受不動産の管理

○ と畜に関する事項

ア と畜場法（昭和28年法律第114号）の規定に基づく次の事項

- (ア) 第4条第1項の規定によると畜場の設置の許可
- (イ) 第4条第3項の規定による構造設備等の変更の届出の受理
- (ウ) 第5条第2項の規定による獣畜の種類及び頭数の制限
- (エ) 第7条第6項(第10条第2項において準用する場合を含む。)の規定による衛生管理責任者及び作業衛生責任者の届出の受理
- (オ) 第12条第1項の規定によると畜場の使用料及びとさつ解体料の額の許可
- (カ) 第13条第1項第1号の規定によるとさつの届出の受理
- (キ) 第13条第3項の規定による取扱方法及び処理方法の指示
- (ク) 第14条第1項から第3項(第4項において準用する場合を含む。)までの規定による検査
- (ケ) 第14条第4項の規定による検査を要しないものの認定
- (コ) 第16条の規定によるとさつ解体の禁止等
- (サ) 第17条第1項の規定による報告の聴取等
- (シ) 第18条第1項の規定による許可の取消等
- (ス) 第18条第2項の規定による業務の停止の命令又はとさつ若しくは解体の禁止

イ と畜場法施行令の規定に基づく次の事項

- (ア) 第4条第2項の規定によると畜場以外でのとさつの許可
- (イ) 第5条第1項第1号から第3号までの規定による許可
- (ウ) 第7条の規定による申請書の受理

○ 食鳥に関する事項

ア 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律(平成2年法律第70号)の規定に基づく次の事項

- (ア) 第3条の規定による食鳥処理の事業の許可
- (イ) 第6条第1項の規定による構造又は設備の変更の許可
- (ウ) 第6条第3項の規定による変更の届出の受理
- (エ) 第7条第2項の規定による地位の継承の届出の受理
- (オ) 第8条又は第9条の規定による許可の取消等
- (カ) 第12条第6項の規定による食鳥処理衛生管理者の届出の受理

- (キ) 第13条の規定による解任命令
- (ク) 第14条の規定による食鳥処理場の休廃止等の届出の受理
- (ケ) 第15条第1項から第3項までの規定による検査
- (コ) 第16条第1項の規定による確認規程の認定
- (サ) 第16条第2項の規定による変更の認定
- (シ) 第16条第6項の規定による解任命令
- (ス) 第16条第7項の規定による報告の徴収
- (セ) 第16条第8項の規定による廃止の届出の受理
- (ソ) 第16条第9項の規定による指導及び助言
- (タ) 第20条の規定による廃止等の措置
- (チ) 第37条の規定による報告の徴収
- (ツ) 第38条第1項の規定による立ち入り検査及び収去

イ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律施行規則(平成2年厚生省令第40号) (ア)

第32条の規定による届出食肉販売業者の届出の受理

○ 食品衛生に関する事項

食品衛生法の規定に基づく次の事項(と畜場及び食鳥処理場内の食肉に係るものに限る。)

ア 第28条第1項の規定による報告の徴収並びに臨検検査及び物件の収去

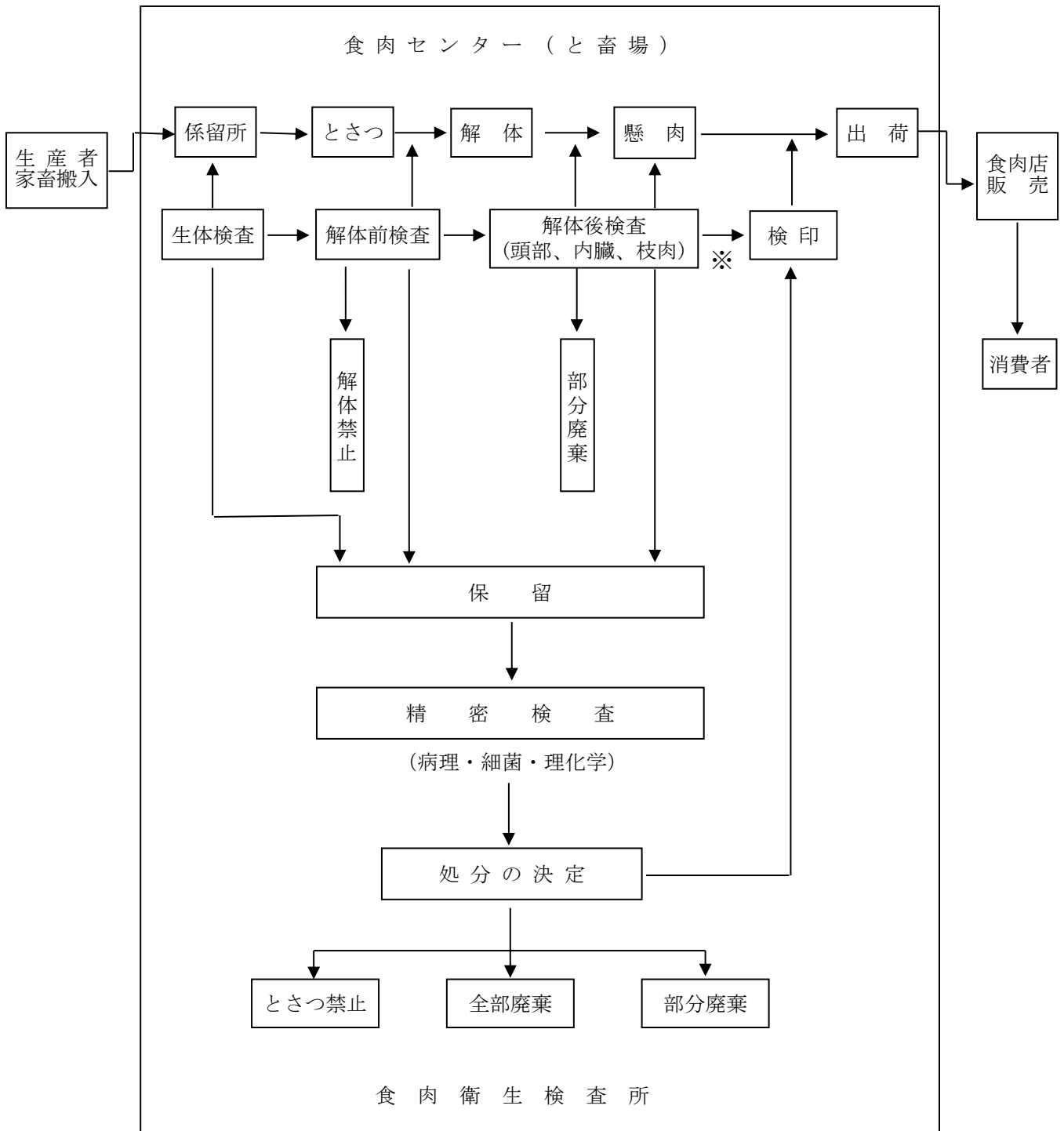
イ 第54条の規定による廃棄処分

6 と畜等検査手数料

(令和2年4月1日現在)

牛・馬	豚	とく・生後1年未満の馬	生後1年以上のめん羊・山羊	生後1年未満のめん羊・山羊	食鳥
700円	310円	300円	150円	80円	5円

7 と畜検査業務フローシート

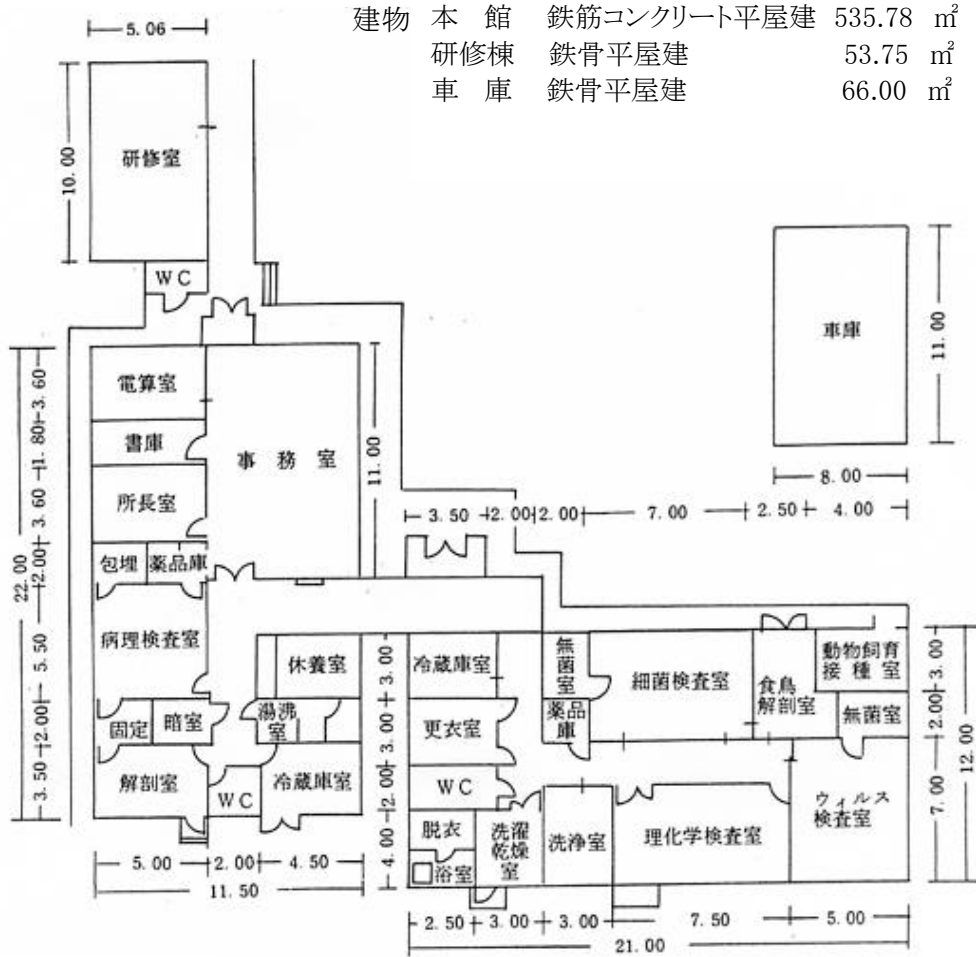


※牛については平成13年10月18日～平成25年6月30日までBSEスクリーニング検査を全頭実施。  
平成25年7月1日から48か月齢超の牛についてBSEスクリーニング検査を実施。  
平成29年4月1日からは、健康牛の検査を原則廃止とし、24か月齢以上の牛のうち、類症鑑別の観点から、と畜検査員が必要と判断したものについてスクリーニング検査を実施。  
※めん山羊については平成17年10月1日～平成25年6月30日までTSEスクリーニング検査を全頭実施。  
平成25年7月1日から12か月齢以上のめん山羊についてTSEスクリーニング検査を実施。  
平成28年6月1日から月齢にかかわらず、特定の臨床症状を呈するものについて検査を実施。

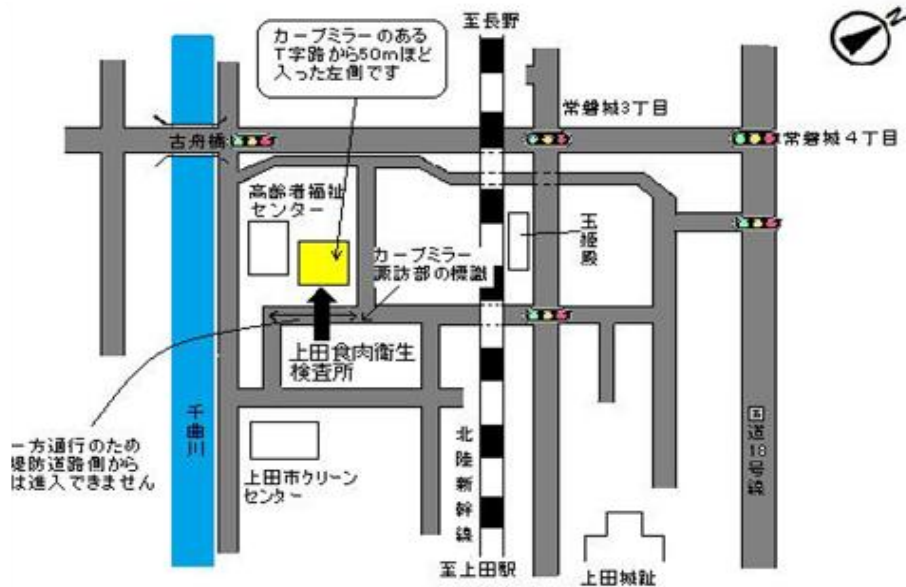
8 検査所別詳細(平面図・案内図・検査機器)

(1) 上田食肉衛生検査所

1) 平面図



2) 付近見取図



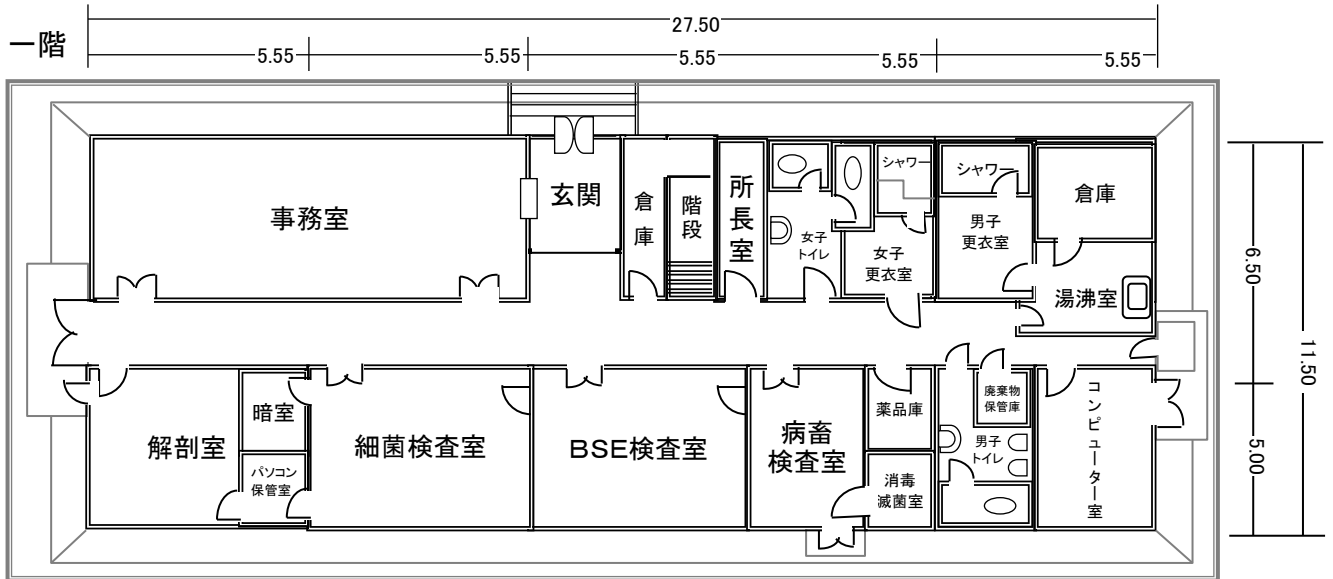
3) 主要検査機器

細菌検査関連機器			クリオスタット	サクラコールドトーム CM-41	1
品目	型式・規格	数量			
生物顕微鏡	オリンパス CX31N-11	1	パラフィン伸展器	サクラ PS-53	1
顕微鏡	オリンパス BHSU-323	1	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BHS-D0-1	1
電子上皿天秤	株式会社 島津製作所 EB-430DW	1	倒立型顕微鏡	オリンパス CK-2	1
ストマッカー	グンゼ産業(株) 400D	1	落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1
PCR検査機器一式	TaKaRa TP-2000 他	1	実体顕微鏡	オリンパス SZ6045TRPT	1
DNA増幅措置(PCR実験装置)	タカラバイオPCR サーマルサイクラーTP350	1	顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM-10ADS	1
ウォーターバス	THOMAS T2S	1	顕微鏡用デジタル カメラ撮影セット	オリンパス DS5060L-A	1
培養器	ヤマト科学 IC-43	1			
細胞培養装置	(株)ヒラサワ CPD-172	1	B S E 検査関連機器		
低温恒温器	サンヨー MPR-312D	1	品目	型式・規格	数量
薬用保冷庫	パナソニック MPR-414-PJ	1	細胞破砕器FastPrep	フナコシ FP100A	1
理化学検査関連機器			細胞破砕器FastPrep	フナコシ FP120	1
品目	型式・規格	数量	微量高速遠心機	エッペンドルフ 5417C	1
ホモジナイザー	日本理化学器械 HM-SA	1	微量高速遠心機	エッペンドルフ 5415D	1
ホモジナイザー	(株) エスエムテー PH91	2	マイクロプレートウォッシャー	BIO-RAD モデル1575	1
振とう機	ヤマト科学 SA-31	1	マイクロプレートリーダー	BIO-RAD モデル550	1
ユニバーサル冷却遠心機	久保田商事(株) 5911型	1			
冷却超高速遠心機	トミー精工 RX-200	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-1C	2
ロータリー エバポレーター	東京理化学器械 N-1型	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-2C	1
			小型低温恒温器	東京理化学器械 SLI-170D	1
ロータリー エバポレーター	東京理化学器械 N-N型	1	低温恒温器	三菱電機 エンゾニアック CN-25C	1
			超低温フリーザー	サンヨー MDF190AT	1
高速液体 クロマトグラフ	ヒューレットパッカード社 HP1100	1	冷凍冷蔵庫	三菱 MR-D30S	1
			現場検査室(と畜場)		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
蛍光検出器(高速液体 クロマトグラフ)	ヒューレットパッカード社 1046A	1	顕微鏡	オリンパス BHTU	1
分光光度計	日立 U-2000A	1	実体顕微鏡	オリンパス SZ-PT	1
マイクロプレート リーダー	コロナ電気 MTP-32	1	血液分析装置	富士ドライケムNX500 s V	1
			自動血球計数装置	エルマ PCE-210N	1
ウォーターバス	ヤマト科学 BT-25	1	培養器	アドバンテック TVA460DA	1
培養器	(株)いすゞ製作所 2-2195	1	ヘマトクリット遠心機	(株)コクサン H-1200 F	1
低温恒温器	アズワン PCI-301型	1	その他		
冷凍冷蔵庫	日立 R-S36RV	1	品目	型式・規格	数量
冷凍冷蔵庫	日立 R-26WS	1	超純水製造装置	ミリボア Milli-Q Integral	1
病理検査関連機器			器具類乾燥器	ヤマト科学 DK-43	1
品目	型式・規格	数量	超音波洗浄器	アズワン HZ-630	1
パラフィン包埋 ブロック作成装置	サクラ TEC-P-DC-J0	1	超音波洗浄器 (ピペット用)	シャープ UT-55	1
プレタトーム	サクラ精機(株) CRM-440	1	乾熱滅菌器	アドバンテック FSP-650	1
ディスカッション顕微鏡	オリンパス BX-51-33	1	超低温フリーザー	サンヨー MDF-192AT	1
密閉式自動固定包埋装置	サクラ VIP5-Jr-J0	1	オートクレーブ	PHC(株) MLS-3030	1
マイクロトーム	大和工機工業(株) 滑走式	1	回転培養装置	(株)ヒラサワ HDR-6-T	1

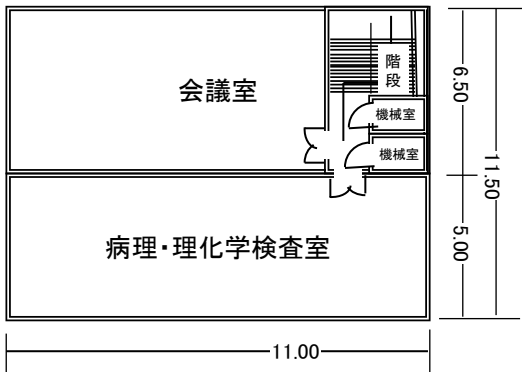
(2) 松本食肉衛生検査所

1) 平面図

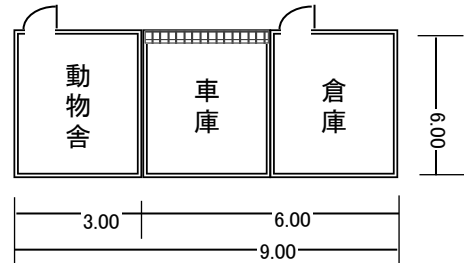
建物	本館	鉄筋コンクリート2階建	447.21m <sup>2</sup>
	動物舎	鉄筋平屋建	18.00m <sup>2</sup>
	車庫	鉄筋平屋建	36.00m <sup>2</sup>
	倉庫	コンクリートブロック	10.56m <sup>2</sup>



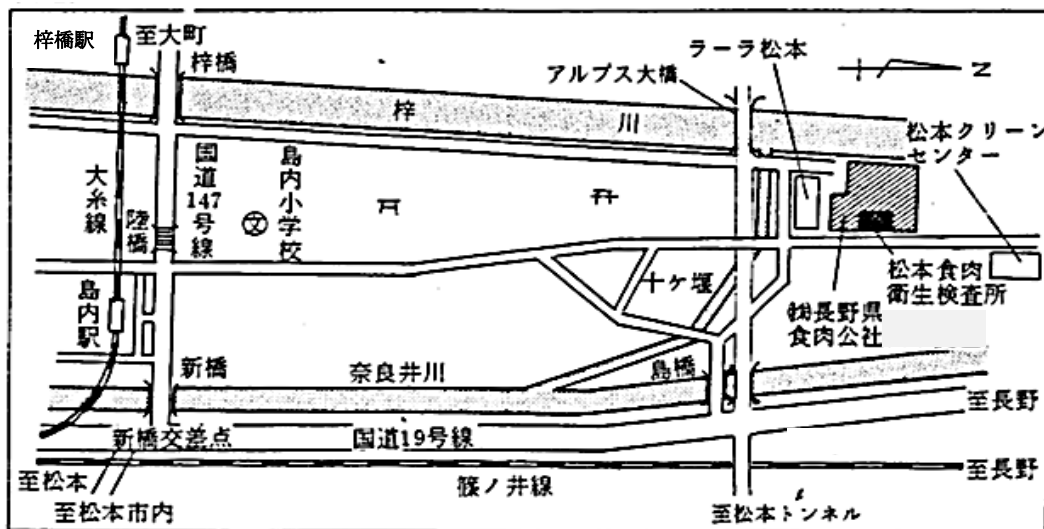
二階



別館



2) 付近見取図



3) 主要検査機器

細菌検査室			病理・理化学検査室		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
クリーンベンチ	サンヨーMCV-B131F	1	卓上遠心器	国産H-108NA	1
顕微鏡	オリンパスBX43	1	PHメーター	堀場F-23C	1
マイクロ冷却遠心機	KUBOTA 3500	1	ロータリーエバポレーター	東京理化器械N-N	1
ゲル撮影装置	(株) アドバンス SCOPE WD	1	ウォーターバス	EYELA SB-651	1
恒温槽	アズワンTR-2A	1	ロータリーエバポレーター	東京理化器械N-1	1
ユニット恒温槽	タイテック DX-100	1	真空制御ユニット	東京理化NVC-1100	1
冷凍冷蔵庫	パナソニックNR-C378 M-P	1	ウォーターバス	EYELA CB-35	1
プログラム低温恒温器	ヤマト科学IL702	1	アスピレーター	EYELA A-3S	1
コロニー計算器	カヤガキDC-3	1		EYELA A-1000S	1
恒温機	EYELA LTI600SD	1	電子天秤	島津EL600	1
ホットスターラー	アズワンRSH-1DV, 1DR	2	吸引マニホールド	GL Sciences	1
ホモジナイザーストマッカー	アズワン パックミキサーミニ100P	1		Iwaki APN-215MV-1-50	1
<b>BSE検査室</b>			ホモジナイザー	SMT PH91	1
品目	型式・規格	数量	密閉式超音波 細胞破碎装置	オリンパス UC-100D2	1
低温恒温器	日立 1800×700×540	1	検体粉碎機	Ultra Turrax Tp 18 10	1
安全キャビネット	アステックASC-137	1	高速液体クロマトグラフ	日本分光PU980, AS950, C0965, MD-910	1
コンパクト天びん	AND HL-100	1	電子分析天秤	ザルトリウスLA230SV	1
ピペットエイド	FASTPETTE V-2	1	フリーザー	サンヨー HF10CT	1
恒温槽	アズワンTR-2A	1	冷凍冷蔵庫	三菱MR-C37S-W形	1
パワーミックス	LABINCO L46	1	冷蔵庫	サンヨー メディカルMPR-161 (H)	1
アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-2C	1	大型2周波超音波洗浄機	アズワンHZ630	1
遠心器	ependorf 5430	1	超純水製造装置	ミリポアSPスタンダード	1
小型恒温器	EYELA SLI-170D型	1	純水製造装置	ミリポアElix-uv3	1
細胞破碎器Fast Prep	フナコンFP24	1	振とう機	ヤマトSA-31	1
マイクロプレートウォッシャー	BIO-RAD Model 1575	1	振とう機	ヤマトSA300	1
マイクロプレートリーダー	BIO-RAD Model 168-1130	1	ドラフトチャンバー	SHIMADZU 361-67225	1
コンピューター	NEC VersaPro	1	落射蛍光顕微鏡	オリンパス BH2	1
プリンター	CANNON LBP-3000	1	顕微鏡写真撮影装置	オリンパスPM-CBSP	1
上皿式電子分析天秤	アズワンIB-200H	1	ミクロトーム	サクラ滑走式IVS-400	1
上皿式電子分析天秤	トラ-AE160	1	パラフィン伸展器	サクラPS52	1
遠心器	Heraeus Biofuge Pico	1	湯浴式パラフィン伸展器	サクラPS-M	1
冷凍冷蔵庫	サンヨーSR-H401K(S)形	1	実体顕微鏡	ニコンSMZ-10	1
PCR法検査器	Takara Dice mini TP100	1	双方顕微鏡	ニコンLABOPHOT	1
電子レンジ	船井HO57-6A	1	自動固定包埋装置	サクラ密閉式VIP-5-Jr-Jo	1
超音波洗浄器	オリンパス KS-2	1	パラフィン包埋ブロック作成装置	サクラTEC-P-S-JO	1
蛍光顕微鏡用超高压水銀灯電源	オリンパス BH2-RFL-T2	1	コールドトーム	サクラ CM41	1
<b>病畜検査室</b>			<b>消毒滅菌室</b>		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
生化学自動分析装置	富士ドライケムシステムNX500eV	1	高压蒸気滅菌器	HIRAYAMA HVE-50	1
自動血球計算器	日本光電Celltac α MEK6450	1	自動式高压蒸気滅菌器	サンヨー MLS-2420	1
顕微鏡	オリンパスBX41	1	乾熱滅菌器	yamata SG-42	1
ヘマトクリット用分離機	KOKUSAN H-1200F	1	<b>その他</b>		
卓上小型遠心機	KUBOTA KA-1000	1	品目	型式・規格	数量
ミニインキュベーター	三菱 CN-25C	2	スライド映写機	パーフェクトキャビンII	1
冷凍冷蔵庫	日立R-27AS	1	プロジェクター	EPSON offirio	1
小型超低温槽	NIHON FREEZER MY BIO VT-78	1			
大型超低温槽	ナショナル NR-FC22FF-W	1			



(3) 長野食肉衛生検査所

1) 平面図

建物

本館	鉄筋コンクリート2階建	399.54 m <sup>2</sup>
動物舎	コンクリートブロック平屋	36.00 m <sup>2</sup>
車庫	鉄筋平屋建	33.00 m <sup>2</sup>



2) 付近見取図



3) 主要検査機器

細菌検査室			顕微鏡写真撮影装置	オリンパス PM-10ADS	1
品目	型式・規格	数量	ディスカッション顕微鏡	オリンパス BHS-D0-1	1
システム顕微鏡	オリンパス BHS-523-SW	1	落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1
実体顕微鏡	ニコン SM2-10-1	1	密閉式自動固定包埋装置	サクラ ETP-300CV	1
PCR法検査機器	Thermo Piko24	2	パラフィン包埋 ブロック作成装置	サクラ TEC-4	1
オートクレーブ	㈱平山製作所 HVE-50	1			
オートクレーブ	㈱平山製作所 HVN-50	1	湯浴式パラフィン伸展器	サクラ PS-25WH	1
低温培養器	サンヨー MIR-152	1	パラフィン伸展器	サクラ PS-53	1
プログラム恒温器	ヤマト科学 IN802	1	マイクロトーム	大和工機工業 滑走式	1
落射式蛍光顕微鏡	オリンパス BHT-RFK-A1	1	マイクロトーム	サクラコールドトーム CM-41	1
理化学検査室					
品目	型式・規格	数量	写真機	アサヒペンタックス スーパーA	1
上皿天秤	メトラー XS205	1	システム顕微鏡	オリンパスBX-53 8H52253	1
乾熱滅菌器	㈱いすゞ製作所 SSK-115	1			
吸引加圧両用ポンプ	日本ミリポア	1	B S E 検査室		
品目	型式・規格	数量	品目	型式・規格	数量
ストマッカー	seward 80-400ml	1	安全キャビネット	日立 SCV-1304EC・II B	1
ホモジナイザー	日本精機 HD-II	1	低温恒温器	ヤマト化学IX301ラボキューブ	1
ホモジナイザー	日本精機 AM-3	1	細胞破砕器FastPrep	フナコシ Fastprep-24	1
振とう機	アズワン AS-1	1	微量高速遠心機	エッペンドルフ 5417C	1
超音波洗浄機	アズワン MUC-63D	1	アルミブロック恒温槽	TAITEC DTU-1C	1
超低温フリーザー	日本フリーザー VT-78	1	マイクロプレート ウォッシャー	BIO-RAD モデル1575	1
冷却遠心機	トミー工業 LX120	1		マイクロプレート リーダー	BIO-RAD iMark
ロータリー エバポレーター	東京理化器械 N-1型	1	現場検査室		
ロータリー エバポレーター	東京理化器械 N-N型	1	品目	型式・規格	数量
カラムプロセッサ	和光 Spe-12G	1	顕微鏡	オリンパス CX21N-22S	1
プログラム恒温器	ヤマト科学 IN604	1	生化学自動分析装置	富士ドライケムNx500sV	1
pHメーター	東亜DKK HM-30G	1	自動血球計数器	アークレイ thinka CB-1010	1
病理検査室			ヘマトクリット遠心機	久保田商事㈱ センテック3220	1
品目	型式・規格	数量			
デジタル撮影装置付 生物顕微鏡	オリンパス BX51N-33	1			

## 第 2 章 食 肉 検 査 統 計

# I 全 県 統 計

第 1 表 と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）

	総 数	牛		と ぐ	馬		豚	めん羊		山羊		
		乳 用	肉 用		1才 以上	1才 未満		1才 以上	1才 未満	1才 以上	1才 未満	
総 数	140,697	7,620	1,662	5,958	10	47	—	132,712	249	18	9	32
4 月	11,821	636	142	494		1		11,166	15	3		
5 月	10,599	557	124	433		1		10,022	16			3
6 月	11,141	623	136	487	2	1		10,489	17	5		4
7 月	12,161	790	181	609	1	3		11,326	36			5
8 月	10,870	640	150	490		5		10,200	18		2	5
9 月	11,466	624	149	475	1	3		10,810	20	2		6
10 月	12,159	669	169	500		1		11,448	28	2	3	8
11 月	12,677	755	127	628	3	3		11,882	29	3	2	
12 月	13,200	819	134	685	1	10		12,342	27		1	
1 月	11,041	399	88	311		3		10,630	8	1		
2 月	11,260	508	93	415	1	1		10,734	14	2		
3 月	12,302	600	169	431	1	15		11,663	21		1	1
上 田	29,665	2,342	462	1,880		1		27,260	32	6	5	19
松 本	62,723	3,499	1,090	2,409	9	33		58,947	210	8	4	13
長 野	48,309	1,779	110	1,669	1	13		46,505	7	4		
令和元年度	129,437	7,901	1,818	6,083	10	39	—	121,144	253	21	17	52
平成30年度	149,806	8,415	1,946	6,469	9	48	—	141,017	219	25	16	57

第 2 表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法・検査所別）

	実 頭 数	総 数	炭 疽	毒			その 他の 細菌 病	ト キ ソ ブ ラ ズ マ 病	そ の 他 の 原 虫 病	ジ ス ト マ 病	そ の 他 の 寄 生 虫 病	膿 毒 症	敗 血 症	尿 毒 症	黄 疸	水 腫	腫 瘍	白 血 病	炎 産 物 に よ る 汚 染	変 性 又 は 萎 縮	そ の 他
				豚 じん 麻 疹 型	丹 関 節 炎 型	毒 敗 血 症 型															
総 数	140,697	128,492	—	1	1	—	10	—	—	6	944	84	94	7	5	151	413	24	112,883	2,735	11,134
合 計	正 常 止	25,422	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	222	222	—	1	1	—	2	—	—	—	81	94	7	3	—	8	24	—	1	—
	一 部 廃 棄	115,050	128,267	—	—	—	8	—	—	6	944	—	—	—	2	151	405	—	112,883	2,734	11,134
牛	正 常 止	192	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	82	82	—	—	—	—	—	—	—	—	25	23	5	1	—	6	22	—	—	—
	一 部 廃 棄	7,346	11,561	—	—	—	8	—	—	6	14	—	—	—	2	108	391	—	7,225	460	3,347
と く	正 常 止	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	7	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	7	—	3
馬	正 常 止	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	35	38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	—	5
豚	正 常 止	24,981	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	137	137	1	1	—	2	—	—	—	—	55	70	2	2	—	1	2	—	1	—
	一 部 廃 棄	107,591	116,578	—	—	—	—	—	—	—	930	—	—	—	—	42	12	—	105,556	2,268	7,770
め ん 羊	正 常 止	201	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	64	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	56	6	8	
山 羊	正 常 止	34	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	1
上 田	正 常 止	2,488	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	42	42	—	—	—	2	—	—	—	—	18	16	—	—	6	—	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	27,135	30,717	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	8	—	26,841	704	3,088
松 本	正 常 止	14,362	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	164	164	1	1	—	—	—	—	—	—	61	70	4	3	2	21	—	—	1	—
	一 部 廃 棄	48,194	55,650	—	—	—	8	—	—	6	936	—	—	—	2	75	396	—	46,849	1,345	6,033
長 野	正 常 止	8,572	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	16	16	—	—	—	—	—	—	—	—	2	8	3	—	—	3	—	—	—	—
	一 部 廃 棄	39,721	41,900	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	1	—	39,193	685	2,013
元 年 度	正 常 止	24,237	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	186	186	—	—	3	2	—	—	—	—	39	107	7	—	—	4	22	2	—	—
	一 部 廃 棄	105,014	119,825	—	—	—	10	—	—	8	680	—	—	—	2	184	382	—	103,011	4,857	10,691
30 年 度	正 常 止	30,551	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	禁 止	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	全 部 廃 棄	191	8,053	—	7	18	—	—	—	—	—	93	112	5	2	—	9	20	1	1,225	6,561
	一 部 廃 棄	119,062	152,589	—	—	—	7	—	—	12	1,110	—	—	—	13	192	375	—	137,642	7,450	5,788

第 3 表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

総 数		総数	上田	松本	長野			総数	上田	松本	長野	
		29,968	7,902	17,697	4,369							
消化器系	腎 炎	313	10	287	16	泌尿生殖器系	膀胱炎・尿道炎	698	336	235	127	
	尿石症	666	366	252	48		子宮内膜炎	173	43	128	2	
	乳房炎	240	40	176	24		その他の疾病	33	5	25	3	
	筋・皮下膿瘍	85	11	65	9		運動器系	筋炎	402	98	249	55
	筋・腱断裂	60	9	49	2			関節炎	455	18	330	107
	骨膿瘍	8		7	1	骨折		35	7	26	2	
	脱臼	82	20	49	13	蹄炎		26	3	20	3	
	その他の炎症	15	3	10	2	その他の疾病		42	1	41		
	その他の疾病					神経系		その他の炎症				
						感覚器		その他の炎症	2		2	
						奇形		ヘルニア	3		3	
								奇形	183	9	168	6
						細菌病		放線菌病	8		8	
								その他の細菌病				
						寄生虫病	原虫病					
								肝蛭症	1		1	
								その他の吸虫症	5		5	
								線虫症	2		1	1
								無鉤囊虫症	1		1	
							その他の条虫症	11		5	6	
循環器系	腫瘍	397	8	389		腫瘍	腫瘍	397	8	389		
	外傷	326	48	262	16	外傷	外傷	326	48	262	16	
	水腫	108	39	69		水腫	水腫	108	39	69		
	脂肪壊死	1,348	476	480	392	その他	脂肪壊死	1,348	476	480	392	
	黄疸	2		2			黄疸	2		2		
	色素沈着症	28		28			色素沈着症	28		28		
	中毒	4	1	1	2		中毒	4	1	1	2	
	難産	76	9	40	27		難産	76	9	40	27	
	起立不能症					起立不能症						
	熱・日射病					熱・日射病						
その他の炎症	6	1	5		その他の炎症	6	1	5				
その他の疾病					その他の疾病							
心内膜炎	4		1	3								
物質沈着	4		4									
心内膜異常	275	32	238	5								
心外膜炎	495	75	395	25								
心筋炎	352	1	349	2								
心筋異常	3		3									
脾炎	11	1	8	2								
動静脈炎	1		1									
リンパ節炎	60	4	53	3								
その他の変性	1		1									
呼吸器系	肺膿瘍	42	1	33	8	その他	肺膿瘍	42	1	33	8	
	肺炎	728	191	251	286		肺炎	728	191	251	286	
	水腫	6		6			水腫	6		6		
	肺気腫	613	207	368	38		肺気腫	613	207	368	38	
	胸膜炎	2,678	878	1,563	237		胸膜炎	2,678	878	1,563	237	
	横隔膜炎	140	21	73	46		横隔膜炎	140	21	73	46	
	その他の炎症	-					その他の炎症	-				

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 4 表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

総 数		総数	上田	松本	長野			総数	上田	松本	長野
		182,753	43,420	78,650	60,683						
消化器系	口腔内異常	7		7		泌尿生殖器系	腎 炎	1,378	570	688	120
	胃 炎	37	4	33			膀胱炎・尿道炎	729	45	497	187
	小腸炎	1,494	400	635	459		子宮内膜炎	531	27	502	2
	腸気腫	67	17	44	6		乳房炎	55	1	46	8
	大腸炎	2,838	405	2,094	339	その他の疾病	517	224	249	44	
	[腸うっ血]	[105]	[37]	[45]	[23]	運動器系	筋・皮下膿瘍	2,967	291	1,821	855
	肝膿瘍	46	9	18	19		筋炎	462	148	39	275
	肝結節	15,427	1,792	7,574	6,061		筋・腱断裂	57	1	7	49
	肝包膜炎	3,701	692	1,325	1,684		関節炎	465	22	298	145
	肝炎	1,311	543	652	116		骨膿瘍	99	12	66	21
	退色肝	2,109	601	916	592		骨折	159	19	103	37
	肝うっ血	159	35	68	56		脱臼	10	5	2	3
	胆管炎・胆嚢炎	1		1			蹄炎	14		14	
	腹膜炎	1,302	199	819	284		その他の炎症	288	254	16	18
	その他の炎症	42		40	2		その他の疾病	1			1
	その他の変性	-				神経系	その他の炎症	-			
	その他の疾病	58	1	43	14	感覚器	その他の炎症	-			
						奇形	ヘルニア	1,624	85	1,114	425
							奇形	2,360	351	1,820	189
	循環器系	心内膜炎	12	2	7	3	細菌病	放線菌病	-		
心内膜異常		367	66	281	20	その他の細菌病		-			
心外膜炎		6,045	1,018	2,913	2,114	非定型抗酸菌症	非定型抗酸菌症	1,349	216	336	797
心筋炎		22	2	20		寄生虫病	原虫病	-			
心筋異常		12	8	3	1		吸虫症	-			
脾炎		38	5	33			線虫症	932		928	4
動静脈炎		-					囊中症	1		1	
リンパ節炎		1,654	749	723	182	その他の条虫症	-				
その他の変性		5	1	1	3	腫瘍	腫瘍	12		11	1
その他の疾病		37	5	27	5	外傷	外傷	1,855	1,246	270	339
呼吸器系	鼻炎	1		1		水腫	水腫	44	41	3	
	M P S	79,600	17,964	35,858	25,778		その他	尾咬傷	526	33	107
	肺膿瘍	886	321	411	154	黄疸		-			
	肺炎	3,640	2,778	494	368	色素沈着症		2		2	
	胸膜肺炎	2,807	1,724	596	487	中毒		-			
	肺気腫	7	4	3		難産		-			
	胸膜炎	41,447	10,459	13,379	17,609	起立不能症		217	5	48	164
	横隔膜炎	27	2	23	2	熱・日射病		-			
	その他の炎症	-				その他の炎症		1		1	
						その他の疾病	892	18	619	255	

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。



第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病・検査所別）

令和 2 年度  
全 県  
単 位：頭

(1) 検査項目別

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査 (レビーゲル検査を含む)	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
総数		947	1,503	611	320	535	36	1
畜種別	牛	629	1,154	583	83	460	27	1
	とく馬	4	9	4		4	1	
	豚	308	333	22	234	70	7	
	めん羊	5	5	1	3		1	
	山 羊	1	2	1		1		
検査所別	上田	172	223	105	68	42	7	1
	松本	670	1,163	420	232	486	25	
	長野	105	117	86	20	7	4	

血液一般検査：レビーゲル、Ht、TP、血球計数などの一般的な検査  
 細菌検査：敗血症、膿毒症、豚丹毒などの細菌検査  
 理化学検査：尿毒症（BUN）、黄疸（T-Bil）などの測定  
 病理検査：腫瘍、水腫などの病理組織検査

(2) 疾 病 別

	総 数	細 菌 学 的 検 査				理 化 学 的 検 査			病 理・寄 生 虫・ウ ィ ル ス 検 査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総 数	1,120 (219)	152 (93)	140 (80)	77 (2)	3 (2)	207 (3)	504 (7)	— (—)	4 (3)	29 (29)	— (—)	4 (—)
牛	751 (82)	36 (23)	45 (25)			197 (1)	445 (5)		1 (1)	27 (27)		
とく 馬	5 (1) — (—)					1 (—)	3 (—)		1 (1)			
豚	359 (134)	116 (70)	92 (53)	77 (2)	3 (2)	9 (2)	55 (2)		2 (1)	2 (2)		3 (—)
めん羊	4 (2)		3 (2)									1 (—)
山 羊	1 (—)						1 (—)					
上 田	110 (42)	39 (16)	25 (18)	5 (—)	2 (2)	9 (—)	22 (—)		1 (1)	5 (5)		2 (—)
松 本	980 (162)	99 (69)	114 (61)	66 (2)		198 (3)	478 (4)		3 (2)	21 (21)		1 (—)
長 野	30 (15)	14 (8)	1 (1)	6 (—)	1 (—)		4 (3)			3 (3)		1 (—)

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数 (内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目・検査所別)

		総 数	乳牛 繁殖	乳牛 肥育	肉牛 繁殖	肉牛 肥育	とく	馬	豚 繁殖	豚 肥育	めん羊	山羊	食鳥	
病 畜	検査頭数	862	477	7	21	87	3	—	26	235	5	1	—	
	抗菌性物質	検体数	872	481	7	21	87	3		30	237	5	1	
		簡易 定性・定量	5	2						2	1			
	陽性数	腎	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	
筋肉		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他		—												
モニタ リング	検査頭数	103	5	3		24	—	—	2	69	—	—	—	
	抗菌性物質	検体数	118	5	3		30			2	78			
		簡易 定性・定量	5								5			
	陽性数	腎	—	—	—		—		—	—	—			
筋肉		—	—	—		—		—	—	—				
その他		—												
その他	検査頭数	—												
	陽性数	—												
検査頭数合計		965	482	10	21	111	3	—	28	304	5	1	—	
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—												
	テトラサイクリン系	—												
	マクロライド系	—												
	アミノグリコシド系	—												
	他の抗生物質	—												
	サルファ剤	—												
	他の合成抗菌剤	—												
	その他	—												
その他	—													
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
検査 頭数	上 田	185	85	1	4	14	—	—	1	78	2	—	—	
	松 本	643	344	9	16	61	3	—	23	183	3	1	—	
	長 野	137	53	—	1	36	—	—	4	43	—	—	—	
元 年 度	検査頭数	913	507	6	26	94	2	1	22	250	4	1	—	
	処分頭数	—												
	全部廃棄頭数※	—												

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数（畜種・月・検査所別）

令和 2 年度  
全 県  
単位：頭

	総数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	令和 元年度	平成 30年度
総 数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
と く	- (-)														
馬	- (-)														2 (-)
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山 羊	- (-)														
上 田	- (-)														
松 本	- (-)														2 (-)
長 野	- (-)														
令和元年度	- (-)														
平成30年度	2 (-)								2 (-)						

( )内の数字は切迫と畜頭数（内書）

第 8 表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊		
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>	
スクリーニング検査	総数	1	—		—		1	1	
	陰性数	1	—		—		1	1	
	陽性数	—	—		—		—		
確定診断 陽性数		—	—		—		—		
上 田		—	—		—		—		
松 本		1	—		—		1	1	
長 野		—	—		—		—		

※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛

※2 検査を実施した具体的な理由(当該牛ヘモフィルス感染症疑いという申告があり、TSEと類症鑑別のために検査を実施)

※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊

※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第9表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所		上 田	松 本	長 野	合 計		陽性の内容				
検査項目		検体数	陽性数	検体数	陽性数	検体数			陽性数		
腸管出血性大腸菌※	牛	枝肉		504	—	96	—	600	—		
		肝臓		48	—	48	—	96	—		
		腸内容物	117	—	48	2	48	—	213	2	
		体表								—	
	馬	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	めん羊	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	豚	枝肉								—	
		腸内容物								—	
		体表								—	
	食鳥	と体								—	
		腸内容物								—	
環境	と畜場内								—		
	食鳥処理場内								—		
カンピロバクター	牛	腸内容物	22	9	23	13		45	22	<i>C. jejuni</i> (6)、 <i>C. coli</i> (14)、 <i>C. lari</i> (2)	
		胆汁	21	6	23	8	25	4	69	18	<i>C. jejuni</i> (7)、 <i>C. coli</i> (11)
	食鳥	と体	21	2	7	6	16	1	44	9	<i>C. jejuni</i> (2)、 <i>C. coli</i> (1)、 <i>C. upsaliensis</i> (5)、不明(1)
		腸内容物・肝臓	2	—					2	—	
	環境	食鳥処理場内	10	—	9	—	4	—	23	—	
サルモネラ属菌	牛	枝肉	17	—	96	—	36	—	149	—	
		肝臓									—
		腸内容物	18	—						18	—
	馬	枝肉									—
		肝臓									—
	豚	枝肉	21	—	140	—	78	—	239	—	
		腸内容物	141	35					141	35	<i>S. Rissen</i> (2)、 <i>S. Typhimurium</i> (1)、07群 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (15)、04群 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (3)、0群不明 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (1)、0群不明 <i>S. enterica subsp. arizonae</i> (1)、07群(9)、04群(3)
	食鳥	と体	21	—	7	—	16	—	44	—	
		腸内容物・肝臓	2	—					2	—	
	環境	と畜場内	4	—					4	—	
食鳥処理場内		10	—	9	—	4	—	23	—		
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	21	1	7	2	16	—	44	3	<i>S. aureus</i> (3)
		腸内容物・肝臓	2	—					2	—	
	環境	食鳥処理場内	10	—					10	—	
糞便系大腸菌群	牛	枝肉			40	—	8	—	48	—	
		肝臓									—
	馬	枝肉									—
		肝臓									—
環境	と畜場内									—	
合 計		460	53	961	31	395	5	1,816	89		

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

## Ⅱ 食肉衛生検査所別統計

# 1 上田食肉衛生検査所



第1表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	佐久	29,665	2,342	462	1,880	—	1	—	27,260	32	6	5	19
4月	佐久	2,615	208	42	166				2,403	1	3		
5月	佐久	2,076	184	38	146				1,888	1			3
6月	佐久	2,358	212	34	178				2,139	1	2		4
7月	佐久	2,568	219	51	168				2,337	7			5
8月	佐久	2,282	216	43	173				2,059			2	5
9月	佐久	2,394	171	31	140				2,219	4			
10月	佐久	2,579	198	53	145				2,375	4			2
11月	佐久	2,652	218	34	184				2,430	2		2	
12月	佐久	2,464	208	39	169				2,251	4		1	
1月	佐久	2,853	171	38	133		1		2,679	2			
2月	佐久	2,442	159	26	133				2,280	2	1		
3月	佐久	2,382	178	33	145				2,200	4			
令和元年度	佐久	17,813	2,533	537	1,996	1	1	—	15,210	16	13	10	29
平成30年度	佐久	26,328	2,893	627	2,266	1	—	—	23,367	19	12	6	30

第2表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

上田食肉衛生検査所

単位：件

	実頭数	総数	炭疽	豚じん麻疹型	丹関節炎型	毒敗血症型	その他の細菌病	トキソプラズマ病	その他の原虫病	ジストマ病	その他の寄生虫病	膿毒症	敗血症	尿管毒症	黄疸	水腫	腫瘍	白血病	炎症又は汚染	産物による炎症	変性又は萎縮	その他
総数	29,665	30,759	-	-	-	-	2	-	-	-	-	18	16	-	-	76	14	-	26,841	704	3,088	
合計	正常	2,488	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	42	42	-	-	-	2	-	-	-	-	18	16	-	-	-	6	-	-	-	-	
	一部廃棄	27,135	30,717	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76	8	-	26,841	704	3,088	
牛	正常	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	6	-	-	-	-	
	一部廃棄	2,264	3,431	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	8	-	2,220	65	1,102	
とく	正常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
馬	正常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
豚	正常	2,385	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	28	28	-	-	-	2	-	-	-	-	16	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
めん羊	正常	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	18	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	14	6	4	
山羊	正常	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	
元年度	正常	1,054	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	22	22	-	-	1	-	-	-	-	-	10	8	1	-	-	-	2	-	-	-	
30年度	正常	1,084	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	29	29	-	-	3	-	-	-	-	-	7	16	1	-	-	-	1	-	1	-	
一部廃棄	25,215	31,186	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2	63	11	-	25,048	3,034	3,017	

第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総数		7,902			
消化器系	口腔内異常	1	泌尿生殖器系	腎炎	10
	胃炎	864		膀胱炎・尿道炎	336
	胃潰瘍	624		尿石症	366
	第1胃パラケトージス	873		子宮内膜炎	43
	鼓脹症			乳房炎	40
	食滞	1	運動器系	その他の疾病	5
	胃拡張	5		筋・皮下膿瘍	11
	小腸炎	526		筋炎	98
	大腸炎	1,257		筋・腱断裂	9
	[腸うっ血]			関節炎	18
	肝膿瘍	58		骨膿瘍	
	鋸屑肝	73		骨折	7
	肝包膜炎	220		脱臼	20
	肝炎	106		蹄炎	3
	肝富脈斑	223		その他の炎症	3
	退色肝	56	その他の疾病	1	
	肝うっ血	8	神経系	その他の炎症	
	胆管炎・胆嚢炎	18	感覚器	その他の炎症	
	腹膜炎	12	奇形	ヘルニア	
	その他の炎症		細菌病	奇形	9
その他の変性	1	放線菌病			
その他の疾病	4	寄生虫病	その他の細菌病		
循環器系	心内膜炎		寄生虫病	原虫病	
	物質沈着			肝蛭症	
	心内膜異常	32		その他の吸虫症	
	心外膜炎	75		線虫症	
	心筋炎	1	無鉤囊虫症		
	心筋異常		その他の条虫症		
	脾炎	1	腫瘍	腫瘍	8
	動静脈炎		外傷	外傷	48
リンパ節炎	4	水腫	水腫	39	
その他の変性			脂肪壊死	476	
呼吸器系	肺膿瘍	1	その他	黄色素沈着症	
	肺炎	191		中毒	
	水腫			難産	1
	肺気腫	207		起立不能症	9
	胸膜炎	878		熱・日射病	
	横隔膜炎	21		その他の炎症	
その他の炎症		その他の疾病	1		

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

上田食肉衛生検査所

単位：件

総数		43,420				
消化器系	口腔内異常		泌尿生殖器系	腎炎	570	
	胃炎	4		膀胱炎・尿道炎	45	
	小腸炎	400		子宮内膜炎	27	
	腸気腫	17		乳房炎	1	
	大腸炎	405		その他の疾病	224	
	[腸うっ血]	[37]		運動器系	筋・皮下膿瘍	291
	肝膿瘍	9			筋炎	148
	肝結節	1,792			筋・腱断裂	1
	肝包膜炎	692			関節炎	22
	肝炎	543			骨膿瘍	12
	退色肝	601			骨折	19
	肝うっ血	35			脱臼	5
	胆管炎・胆嚢炎				蹄炎	
	腹膜炎	199			その他の炎症	254
	その他の炎症				その他の疾病	
その他の変性病		神経系	その他の炎症			
その他の疾病	1	感覚器	その他の炎症			
循環器系	心内膜炎	2	細菌病	ヘルニア	85	
	心内膜異常	66		奇形	351	
	心外膜炎	1,018	非定型抗酸菌症	放線菌病		
	心筋炎	2		その他の細菌病		
	心筋異常	8	寄生虫病	非定型抗酸菌症	216	
	脾炎	5		原虫病		
	動静脈炎			吸虫症		
	リンパ節炎	749		線虫症		
	その他の変性病	1	腫瘍	囊中症		
	その他の疾病	5		その他の条虫症		
呼吸器系	鼻炎		外傷	腫瘍		
	MPS	17,964		外傷	1,246	
	肺膿瘍	321	水腫	水腫	41	
	肺炎	2,778		その他	尾咬傷	33
	胸膜肺炎	1,724			黄疽	
	肺気腫	4			色素沈着症	
	胸膜炎	10,459			中毒	
	横隔膜炎	2			難産	
	その他の炎症				起立不能症	5
					熱・日射病	
		その他の炎症				
		その他の疾病	18			

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和 2 年度  
上田食肉衛生検査所

(1) 検査項目別

単位：頭数（環境他：件数）

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査（レ ビ―ゲル検査を 含む）	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	106	150	99	12	33	5	1
	とく馬		—					
	豚	64	71	5	56	9	1	
	めん羊	2	2	1			1	
	山 羊		—					
	小計	172	223	105	68	42	7	1
調 査 研 究	牛	153	153		133	3	12	5
	とく馬		—					
	豚	279	279		257	6	16	
	めん羊		—					
	山 羊		—					
	その他	17	17		17			
小計	449	449	—	407	9	28	5	
環 境		17	17		17			
合 計		638	689	105	492	51	35	6

(2) 疾病別

	総 数	全体的検査		理化学的検査 病理・寄生虫・ウイルス検査								
		敗血症	膿毒症	豚丹毒	その他	黄疸	尿毒症	その他	腫瘍	白血病	トラキズソマプ病	その他
総数	110 (42)	39 (16)	25 (18)	5 (－)	2 (2)	9 (－)	22 (－)	－ (－)	1 (1)	5 (5)	－ (－)	2 (－)
牛	46 (14)	8 (6)	2 (2)			9 (－)	21 (－)		1 (1)	5 (5)		
とく	－ (－)											
馬	－ (－)											
豚	63 (28)	31 (10)	23 (16)	5 (－)	2 (2)		1 (－)					1 (－)
めん羊	1 (－)											1 (－)
山羊	－ (－)											

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数(内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

令和 2 年度  
上田食肉衛生検査所  
単位：件

			総 数	乳 繁	牛 殖	乳 肥	牛 育	肉 繁	牛 殖	肉 肥	牛 育	とく	馬	豚 繁 殖	豚 肥 育	めん羊	山羊	食鳥	
病 菌 性 物 質	抗 菌 性	検 査 頭 数	164	85	1	4	8							1	63	2			
		検体数	168	87	1	4	8								1	65	2		
	陽性数	簡 易 定性・定量	3	2												1			
		腎	1	—	—	—	—								—	1	—		
畜 質	陽性数	筋 肉	—	—	—	—								—	—	—			
		そ の 他	—																
	抗 菌 性	検 査 頭 数	21				6									15			
		検体数	24				9									15			
タ 物 リ 質	陽性数	簡 易 定性・定量	5												5				
		腎	—				—								—				
グ そ の 他	陽 性 数	筋 肉	—				—								—				
		そ の 他	—																
検 査 頭 数 合 計			185	85	1	4	14	—	—	1	78	2	—	—					
処 分 物 質 頭 数	抗 菌 性 物 質	ペニシリン系	—																
		テトラサイクリン系	—																
		マクロライド系	—																
		アミノグリコシド系	—																
		他の抗生物質	—																
		サルファ剤	—																
		他の合成抗菌剤	—																
	その他	—																	
そ の 他	—																		
合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
元 年 度	検 査 頭 数		192	96	1	3	29	—	1	6	56	—	—	—	—	—	—		
	処 分 頭 数		—																
	全 部 廃 棄 頭 数 <sup>※</sup>		—																

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

令和 2 年度  
上田食肉衛生検査所  
単位：頭

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 元年度	平成 30年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)														
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
令和元年度	- (-)														
平成30年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数(内書)



第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>		
スクリーニング検査	総数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	陰性数	—	—			—		—		
	陽性数	—	—			—		—		
確定診断	陽性数	—	—			—		—		

※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛

※2 検査を実施した具体的な理由(当該牛ヘモフィルス感染症疑いという申告があり、TSEと類症鑑別のために検査を実施)

※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊

※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第9表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所				陽性の内容	
検査項目		検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉			
		肝臓			
		腸内容物	117	—	
	馬	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	緬羊	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	豚	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	食鳥	と体			
		腸内容物			
	環境	と畜場内			
食鳥処理場内					
カンピロバクター	牛	腸内容物	22	9	<i>C. jejuni</i> (4)、 <i>C. coli</i> (3)、 <i>C. lari</i> (2)
		胆汁	21	6	<i>C. jejuni</i> (3)、 <i>C. coli</i> (3)
	食鳥	と体	21	2	<i>C. jejuni</i> (1)、 <i>C. coli</i> (1)
		肝臓・腸内容物	2	—	
	環境	食鳥処理場内	10	—	
サルモネラ属菌	牛	枝肉	17	—	
		肝臓			
		腸内容物	18	—	
	馬	枝肉			
		肝臓			
	豚	枝肉	21	—	
		腸内容物	141	35	<i>S. Rissen</i> (2)、 <i>S. Typhimurium</i> (1)、07群 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (15)、04群 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (3)、0群不明 <i>S. enterica subsp. enterica</i> (1)、0群不明 <i>S. enterica subsp. arizonae</i> (1)、07群 (9)、04群 (3)
	食鳥	と体	21	—	
		肝臓・腸内容物	2	—	
環境	と畜場内	4	—		
	食鳥処理場内	10	—		
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	21	1	<i>S. aureus</i> (1)
		肝臓・腸内容物	2	—	
	環境	食鳥処理場内	10	—	
糞便系大腸菌群	牛	枝肉			
		肝臓			
	馬	枝肉			
		肝臓			
	環境	と畜場内			
合計			460	53	

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

## 2 松本食肉衛生検査所

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	松本畜試	62,723	3,499	1,090	2,409	9	33	0	58,947	210	8	4	13
	合計	0	—	—	—	—	—	—	0	—	—	—	—
4月	松本畜試	5,297	289	88	201				4,994	14			
	小計	—	—	—	—				—	—			
5月	松本畜試	5,046	269	76	193		1		4,763	13			
	小計	—	—	—	—		1		—	—			
6月	松本畜試	4,998	268	92	176	2			4,714	14			
	小計	—	—	—	—	2			—	—			
7月	松本畜試	5,619	381	118	263		1		5,208	29			
	小計	—	—	—	—		1		—	—			
8月	松本畜試	5,108	277	99	178		3		4,810	18			
	小計	—	—	—	—		3		—	—			
9月	松本畜試	5,277	309	107	202	1	2		4,941	16	2		6
	小計	—	—	—	—	1	2		—	—	2		6
10月	松本畜試	5,609	308	108	200		1		5,265	24	2	3	6
	小計	—	—	—	—		1		—	—	2	3	6
11月	松本畜試	5,848	341	90	251	3	2		5,474	26	2		
	小計	—	—	—	—	3	2		—	—	2		
12月	松本畜試	6,220	371	88	283	1	7		5,818	23			
	小計	—	—	—	—	1	7		—	—			
1月	松本畜試	2,977	137	38	99		1		2,832	6	1		
	小計	—	—	—	—		1		—	—	1		
2月	松本畜試	5,198	249	62	187	1	1		4,934	12	1		
	小計	—	—	—	—	1	1		—	—	1		
3月	松本畜試	5,526	300	124	176	1	14		5,194	15		1	1
	小計	—	—	—	—	1	14		—	—		1	1
令和元年度	松本畜試	64,910	3,697	1,123	2,574	7	26		60,919	226	5	7	23
	小計	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—
平成30年度	松本畜試	71,386	3,853	1,187	2,666	6	34		67,253	191	12	10	27
	小計	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—
		71,386	3,853	1,187	2,666	6	34		67,253	191	12	10	27

第2表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

単位：件

	実頭数	総数	炭疽	豚じん麻疹型	丹節炎型	毒敗血症型	その他の細菌病	トキソプラズマ病	その他の原虫病	ジストマ病	その他の寄生虫病	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	白血病	炎症物又は汚染	産物による炎症	変性又は萎縮	その他
総数	62,723	55,817	—	1	1	—	8	—	—	6	936	64	70	4	5	75	398	21	46,849	1,346	6,033	
合計	正常	14,362																				
	禁止	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	164	164	—	1	1	—	—	—	—	—	61	70	4	3	—	2	21	—	1	—	
	一部廃棄	48,194	55,650	—	—	—	8	—	—	6	936	—	—	—	2	75	396	—	46,849	1,345	6,033	
牛	正常	12																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	62	62									23	16	3	1			19				
	一部廃棄	3,425	5,916				8			6	7				2	72	383		3,406	360	1,672	
とく	正常	1																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	1	1														1					
馬	正常	5																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	—	—																			
豚	正常	14,157																				
	禁止	3	3									3										
	全部廃棄	99	99	1	1							37	53	1	2		1	2		1		
めん羊	正常	172																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	2	2									1	1									
山羊	正常	15																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	—	—																			
元年度	正常	14,827																				
	禁止	—	—																			
	全部廃棄	153	153	—	—	2	2	—	—	—	—	24	95	6	—	—	4	18	2	—	—	
30年度	正常	21,336																				
	禁止	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	全部廃棄	119	7,898	—	—	4	—	—	—	—	—	31	57	4	2		5	15	1	1,218	6,561	
一部廃棄	49,929	49,574	—	—	—	7	—	—	10	1,004	—	—	—	1	79	353	—	48,120	—	—		

第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総数		17,697				
消化器系	口腔内異常	78	泌尿生殖器系	腎炎	287	
	胃炎	3,461		膀胱炎・尿道炎	235	
	胃潰瘍	760		尿石症	252	
	第1胃パラケトージス	925		子宮内膜炎	128	
	鼓脹症	2		乳房炎	176	
	食滞	11		その他の疾病	25	
	胃拡張	25		運動器系	筋・皮下膿瘍	65
	小腸炎	1,042			筋炎	249
	大腸炎	1,956			筋・腱断裂	49
	[腸うっ血]	[490]			関節炎	330
	肝膿瘍	191			骨膿瘍	7
	鋸屑肝	184			骨折	26
	肝包膜炎	498			脱臼	49
	肝炎	1,055			蹄炎	20
	肝富脈斑	306			その他の炎症	10
	退色肝	317			その他の疾病	41
	肝うっ血	15		神経系	その他の炎症	
	胆管炎・胆嚢炎	32		感覚器	その他の炎症	2
	腹膜炎	60		奇形	ヘルニア	3
	その他の炎症	4			奇形	168
その他の変性	2	細菌病	放線菌病	8		
その他の疾病	7		その他の細菌病			
循環器系	心内膜炎	1	寄生虫病	原虫病		
	物質沈着	4		肝蛭症	1	
	心内膜異常	238		その他の吸虫症	5	
	心外膜炎	395		線虫症	1	
	心筋炎	349		無鉤囊虫症	1	
	心筋異常	3	その他の条虫症	5		
	脾炎	8	腫瘍	腫瘍	389	
	動静脈炎	1	外傷	外傷	262	
	リンパ節炎	53	水腫	水腫	69	
	その他の変性	1		脂肪壊死	480	
呼吸器系	肺膿瘍	33	その他	黄色素沈着症	28	
	肺炎	251		中毒		
	水腫	6		難産	1	
	肺気腫	368		起立不能症	40	
	胸膜炎	1,563		熱・日射病		
	横隔膜炎	73		その他の炎症		
その他の炎症			その他の疾病	5		

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

松本食肉衛生検査所

単位：件

総数		78,650			
消化器系	口腔内異常	7	泌尿生殖器系	腎炎	688
	胃炎	33		膀胱炎・尿道炎	497
	小腸炎	635		子宮内膜炎	502
	腸気腫	44		乳房炎	46
	大腸炎	2,094		その他の疾病	249
	[腸うっ血]	[45]	運動器系	筋・皮下膿瘍	1,821
	肝膿瘍	18		筋炎	39
	肝結節	7,574		筋・腱断裂	7
	肝包膜炎	1,325		関節炎	298
	肝炎	652		骨膿瘍	66
	退色肝	916		骨折	103
	肝うっ血	68		脱臼	2
	胆管炎・胆嚢炎	1		蹄炎	14
	腹膜炎	819		その他の炎症	16
	その他の炎症	40		神経系	その他の炎症
	その他の変性病		感覚器	その他の炎症	
	その他の疾病	43	奇形	ヘルニア	1,114
			奇形	1,820	
循環器系	心内膜炎	7	細菌病	放線菌病	
	心内膜異常	281		その他の細菌病	
	心外膜炎	2,913	非定型抗酸菌症	非定型抗酸菌症	336
	心筋炎	20	寄生虫病	原虫病	
	心筋異常	3		吸虫症	928
	脾炎	33		線虫症	1
	動静脈炎			囊中症	
	リンパ節炎	723		その他の条虫症	
	その他の変性病	1	腫瘍	腫瘍	11
その他の疾病	27	外傷	外傷	270	
呼吸器系	鼻炎	1	水腫	水腫	3
	MPS	35,858	その他	尾咬傷	107
	肺膿瘍	411		黄疸	
	肺炎	494		色素沈着症	2
	胸膜肺炎	596		中毒	
	肺気腫	3		難産	
	胸膜炎	13,379		起立不能症	48
	横隔膜炎	23		熱・日射病	
その他の炎症		その他の炎症	1		
			その他の疾病	619	

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和 2 年度  
松本食肉衛生検査所  
単位：頭（環境他：件）

(1) 検査項目別

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査（レビールゲル検査を含む）	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	441	912	403	67	423	19	
	とく馬	4	9	4		4	1	
	豚	221	237	12	162	58	5	
	めん羊	3	3		3			
	山 羊	1	2	1		1		
	小計	670	1,163	420	232	486	25	—
	調査研究	牛	70	122		93	1	22
とく馬		—						
豚	44	85		70	2	13		
めん羊	70	71			70	1		
山 羊	3	3			3			
その他	7	7		7				
小計	194	288	—	170	76	36	6	
環 境	9	9		9				
合 計	873	1,460	420	411	562	61	6	



(2) 疾病別

	総 数	細菌学的検査				理化学的検査			病理・寄生虫・ウイルス検査			
		敗 血 症	膿 毒 症	豚 丹 毒	そ の 他	黄 疸	尿 毒 症	そ の 他	腫 瘍	白 血 病	トラ キズ ソマ プ病	そ の 他
総数	980 (162)	99 (69)	114 (61)	66 (2)	— (—)	198 (3)	478 (4)	— (—)	3 (2)	21 (21)	— (—)	1 (—)
牛	695 (62)	24 (16)	43 (23)			188 (1)	421 (3)			19 (19)		
とく	5 (1)					1 (—)	3 (—)		1 (1)			
馬	— (—)											
豚	276 (97)	75 (53)	68 (36)	66 (2)		9 (2)	53 (1)		2 (1)	2 (2)		1 (—)
めん羊	3 (2)		3 (2)									
山羊	1 (—)						1 (—)					

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数(内書)

第6表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

		総数	乳牛 繁殖	牛乳 肥育	肉牛 繁殖	牛乳 肥育	肉牛 肥育	とく	馬	豚 繁殖	豚 肥育	めん羊	山羊	食鳥	
病 菌 性 物 質	検査頭数	595	339	6	16	52	3			21	154	3	1		
	検体数	簡易	599	341	6	16	52	3			23	154	3	1	
		定性・定量	—												
	畜 質	腎	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—	
陽性数		—	—	—	—	—	—			—	—	—	—		
筋肉 その他		—													
モ ニ タ リ ン グ	検査頭数	48	5	3		9				2	29				
	検体数	簡易	52	5	3		9			2	33				
		定性・定量	—												
	陽性数	腎	—	—	—		—			—	—				
筋肉 その他		—	—	—		—			—	—					
そ の 他	検査頭数	—													
	陽性数	—													
検査頭数合計		643	344	9	16	61	3	—		23	183	3	1	—	
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—													
	テトラサイクリン系	—													
	マクロライド系	—													
	アミノグリコシド系	—													
	他の抗生物質	—													
	サルファ剤	—													
	他の合成抗菌剤	—													
	その他	—													
その他	—														
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
元 年 度	検査頭数	596	353	5	22	32	2	—		16	161	4	1	—	
	処分頭数	—													
	全部廃棄頭数※	—													

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

令和 2 年度  
松本食肉衛生検査所  
単位：頭

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 元年度	平成 30年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	2 (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)														2 (-)
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
令和元年度	- (-)														
平成30年度	2 (-)								2 (-)						

( )内の数字は切迫と畜頭数(内書)

第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>		
スクリーニング検査	総数	1	—	—	—	—	—	1	1	—
	陰性数	1			—			1	1	
	陽性数	—	—		—			—		
確定診断	陽性数	—	—		—			—		

- ※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛
- ※2 検査を実施した具体的な理由( )
- ※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊
- ※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第9表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所				陽性の内容	
検査項目		検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉	504	—	
		肝臓	48	—	
		腸内容物	48	2	<i>E. coli</i> 0157 (2)
	馬	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	緬羊	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	豚	枝肉			
		腸内容物			
		体表			
	食鳥	と体			
		腸内容物			
	環境	と畜場内			
食鳥処理場内					
カンピロバクター	牛	腸内容物	23	13	<i>C. jejuni</i> (2)、 <i>C. coli</i> (11)
		胆汁	23	8	<i>C. jejuni</i> (1)、 <i>C. coli</i> (7)
	食鳥	と体	7	6	<i>C. upsaliensis</i> (5)、不明 (1)
		肝臓・腸内容物			
環境	食鳥処理場内	9	—		
サルモネラ属菌	牛	枝肉	96	—	
		肝臓			
		腸内容物			
	馬	枝肉			
		肝臓			
	豚	枝肉	140	—	
		腸内容物			
	食鳥	と体	7	—	
肝臓・腸内容物					
環境	と畜場内				
	食鳥処理場内	9	—		
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	7	2	<i>S. aureus</i> (2)
		肝臓・腸内容物			
環境	食鳥処理場内				
糞便系大腸菌群	牛	枝肉	40	—	
		肝臓			
	馬	枝肉			
		肝臓			
環境	と畜場内				
合計			961	31	

※ 腸管出血性大腸菌は、0157、026、0111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。

### 3 長野食肉衛生検査所

第1表 と畜検査頭数（畜種・月・と畜場別）

	区分	総数	牛		とく	馬		豚	めん羊		山羊		
			乳用	肉用		1才以上	1才未満		1才以上	1才未満	1才以上	1才未満	
総数	北信	48,309	1,779	110	1,669	1	13	—	46,505	7	4	—	—
4月	北信	3,909	139	12	127		1		3,769				
5月	北信	3,477	104	10	94				3,371	2			
6月	北信	3,785	143	10	133		1		3,636	2	3		
7月	北信	3,974	190	12	178	1	2		3,781				
8月	北信	3,480	147	8	139		2		3,331				
9月	北信	3,795	144	11	133		1		3,650				
10月	北信	3,971	163	8	155				3,808				
11月	北信	4,177	196	3	193		1		3,978	1	1		
12月	北信	4,516	240	7	233		3		4,273				
1月	北信	5,211	91	12	79		1		5,119				
2月	北信	3,620	100	5	95				3,520				
3月	北信	4,394	122	12	110		1		4,269	2			
令和元年度	北信	46,714	1,671	158	1,513	2	12	—	45,015	11	3	—	—
平成30年度	北信	52,092	1,669	132	1,537	2	14	—	50,397	9	1	—	—

第2表 獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄した件数（畜種・原因・処分方法別）

長野食肉衛生検査所

単位：件

	実頭数	総数	炭疽	豚じん麻疹型	丹関節炎症型	毒敗血症型	その他の細菌病	トキソプラズマ病	その他の原虫病	ジストマ病	その他の寄生虫病	膿毒症	敗血症	尿管毒症	黄疸	水腫	腫瘍	白血病	炎症又は汚染	産物による炎症	変性又は萎縮	その他
総数	48,309	41,916	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	8	3	-	-	1	3	39,193	685	2,013	
合計	正常	8,572	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	3	-	-	-	3	-	-	-	
	一部廃棄	39,721	41,900	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	39,193	685	2,013	
牛	正常	116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	-	-	-	
	一部廃棄	1,657	2,214	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1,599	35	573	
とく	正常	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
馬	正常	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一部廃棄	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	
豚	正常	8,439	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	1	-	-	-	-	-	-	-	
	一部廃棄	38,056	39,678	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	37,586	650	1,440	
めん羊	正常	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一部廃棄	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
山羊	正常	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	一部廃棄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
元年度	正常	8,356	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	-	-	-	-	2	-	-	-	
	一部廃棄	38,347	40,336	-	-	-	-	1	-	-	3	3	-	-	-	1	7	-	37,732	701	1,888	
30年度	正常	8,131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	禁止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全部廃棄	43	43	-	1	-	-	-	-	-	-	15	26	-	-	-	-	-	-	-	1	
	一部廃棄	43,918	46,001	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	4	-	-	43,420	1,070	1,500	



第3表 牛の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総数		4,369				
消化器系	口腔内異常		泌尿生殖器系	腎炎	16	
	胃炎	552		膀胱炎・尿道炎	127	
	胃潰瘍	463		尿石症	48	
	第1胃パラケトージス	61		子宮内膜炎	2	
	鼓脹症	1		乳房炎	24	
	食滞			その他の疾病	3	
	胃拡張			運動器系	筋・皮下膿瘍	9
	小腸炎	625			筋炎	55
	大腸炎	683			筋・腱断裂	2
	[腸うっ血]	[1]			関節炎	107
	肝膿瘍	83			骨膿瘍	1
	鋸屑肝	105			骨折	2
	肝包膜炎	143			脱臼	13
	肝炎	12			蹄炎	3
	肝富脈斑	78			その他の炎症	2
	退色肝	26			その他の疾病	
	肝うっ血	8		神経系	その他の炎症	
	胆管炎・胆嚢炎			感覚器	その他の炎症	
	腹膜炎	10		奇形	ヘルニア 奇形	6
	その他の炎症			細菌病	放線菌病 その他の細菌病	
その他の変性		寄生虫病	原虫病			
その他の疾病			肝蛭症 その他の吸虫症	1		
循環器系	心内膜炎		3	線虫症 無鉤囊虫症 その他の条虫症	6	
	物質沈着			腫瘍	腫瘍	
	心内膜異常		5	外傷	外傷	16
	心外膜炎		25	水腫	水腫	
	心筋炎		2	その他	脂肪壊死	392
	心筋異常		黄色素沈着症			
	脾炎	2	中毒		2	
動静脈炎		難起立不能症	27			
リンパ節炎	3	熱・日射病				
その他の変性		その他の炎症				
呼吸器系	肺膿瘍	8	その他の疾病			
	肺炎	286				
	水腫					
	肺気腫	38				
	胸膜炎	237				
	横隔膜炎	46				
その他の炎症						

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変性等の件数は計上されていません。

第4表 豚の主たる原因別一部廃棄処分の内訳

単位：件

総数		60,683				
消化器系	口腔内異常		泌尿生殖器系	腎炎	120	
	胃炎			膀胱炎・尿道炎	187	
	小腸炎	459		子宮内膜炎	2	
	腸気腫	6		乳房炎	8	
	大腸炎	339		その他の疾病	44	
	[腸うっ血]	[23]		運動器系	筋・皮下膿瘍	855
	肝膿瘍	19			筋炎	275
	肝結節	6,061			筋・腱断裂	49
	肝包膜炎	1,684			関節炎	145
	肝炎	116			骨膿瘍	21
	退色肝	592			骨折	37
	肝うっ血	56			脱臼	3
	胆管炎・胆嚢炎				蹄炎	
	腹膜炎	284			その他の炎症	18
その他の炎症	2	その他の疾病	1			
その他の変性		神経系	その他の炎症			
その他の疾病	14	感覚器	その他の炎症			
循環器系	心内膜炎	3	細菌病	ヘルニア	425	
	心内膜異常	20		奇形	189	
	心外膜炎	2,114	非定型抗酸菌症	放線菌病		
	心筋炎			その他の細菌病		
	心筋異常	1	寄生虫病	非定型抗酸菌症	797	
	脾炎			原虫病		
	動静脈炎			吸虫症		
	リンパ節炎	182	腫瘍	線虫症	4	
その他の変性	3	囊中症				
その他の疾病	5	外傷	その他の条虫症			
呼吸器系	鼻炎		水腫	腫瘍	1	
	MPS	25,778		外傷	339	
	肺膿瘍	154		その他	水腫	
	肺炎	368			尾咬傷	386
	胸膜肺炎	487			黄疽	
	肺気腫				色素沈着症	
	胸膜炎	17,609			中毒	
	横隔膜炎	2			難産	
その他の炎症		起立不能症	164			
		熱・日射病				
		その他の炎症				
		その他の疾病	255			

※ 総数には、[ ]印で示したと殺性変化等の件数は計上されていません。

第 5 表 精密検査実施数（畜種・検査項目・疾病別）

令和 2 年度  
長野食肉衛生検査所

(1) 検査項目別

単位：頭数（環境他：件数）

		検査頭数	のべ検査頭数	血液一般検査（レ ビ―ゲル検査を 含む）	細菌検査	理化学検査	病理検査	その他の検査
と畜場法に基づく検査	牛	82	92	81	4	4	3	
	とく馬		—					
	豚	23	25	5	16	3	1	
	めん羊		—					
	山 羊		—					
	小計	105	117	86	20	7	4	—
調 査 研 究	牛	44	44		44			
	とく馬		—					
	豚	45	45		44		1	
	めん羊		—					
	山 羊		—					
	その他	16	16		16			
	小計	105	105	—	104	—	1	—
環 境		4	4		4			
合 計		214	226	86	128	7	5	—

(2) 疾病別

	総 数	全体的検査		理化学的検査 病理・寄生虫・ウイルス検査								
		敗血症	膿毒症	豚丹毒	その他	黄疸	尿毒症	その他	腫瘍	白血病	トラキズソマブ病	その他
総数	30 (15)	14 (8)	1 (1)	6 (-)	1 (-)	- (-)	4 (3)	- (-)	- (-)	3 (3)	- (-)	1 (-)
牛	10 (6)	4 (1)					3 (2)			3 (3)		
とく	- (-)											
馬	- (-)											
豚	20 (9)	10 (7)	1 (1)	6 (-)	1 (-)		1 (1)					1 (-)
めん羊	- (-)											
山羊	- (-)											

( )の数字は禁止又は廃棄した頭数(内書)

第 6 表 動物用医薬品等の残留検査実施状況 (畜種・検査項目別)

令和 2 年度  
長野食肉衛生検査所  
単位：件

		総数	乳牛 繁殖	牛乳 肥育	肉牛 繁殖	牛乳 肥育	肉牛 肥育	とく	馬	豚 繁殖	豚 肥育	めん羊	山羊	食鳥
病 菌 性 物 質	検査頭数	103	53		1	27				4	18			
	検体数	簡易	105	53		1	27			6	18			
		定性・定量	2							2				
畜 質	陽性数	腎	—	—	—	—			—	—				
		筋肉	—	—	—	—			—	—				
		その他	—											
モ ニ タ リ ン グ	検査頭数	34				9					25			
	検体数	簡易	42				12				30			
		定性・定量	—											
グ	陽性数	腎	—			—					—			
		筋肉	—			—					—			
		その他	—											
そ の 他	検査頭数	—												
	陽性数	—												
検査頭数合計		137	53	—	1	36	—	—	4	43	—	—	—	
処 分 性 物 質 頭 数	ペニシリン系	—												
	テトラサイクリン系	—												
	マクロライド系	—												
	アミノグリコシド系	—												
	他の抗生物質	—												
	サルファ剤	—												
	他の合成抗菌剤	—												
	その他	—												
そ の 他	—													
合 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
元 年 度	検査頭数	125	58	—	1	33	—	—	—	33	—	—	—	
	処分頭数	—												
	全部廃棄頭数※	—												

※：処分頭数の内書

第 7 表 時間外と畜検査頭数 (畜種・月別)

令和 2 年度  
長野食肉衛生検査所  
単位：頭

	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和 元年度	平成 30年度
総数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
牛	肉用	- (-)													
	乳用	- (-)													
とく	- (-)														
馬	- (-)														
豚	- (-)														
めん羊	- (-)														
山羊	- (-)														
令和元年度	- (-)														
平成30年度	- (-)														

( )内の数字は切迫と畜頭数(内書)

第8表 伝達性海綿状脳症検査実施状況

		総数	牛		めん羊		山羊			
			症状を呈する牛 <sup>※1</sup>	その他の牛 <sup>※2</sup>	TSE疑いのめん羊 <sup>※3</sup>	その他のめん羊 <sup>※4</sup>	TSE疑いの山羊 <sup>※3</sup>	その他の山羊 <sup>※4</sup>		
スクリーニング検査	総数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	陰性数	—	—			—		—		
	陽性数	—	—			—		—		
確定診断	陽性数	—	—			—		—		

- ※1 生後24か月齢以上の牛のうち、生体検査において、原因不明の運動障害、知覚障害、反射異常、意識障害等の何らかの神経症状又は全身症状(事故による骨折、関節炎、熱射病等による起立不能等症状の原因が明らかな牛は除く。)を示す牛
- ※2 検査を実施した具体的な理由( )
- ※3 生体検査において、運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈するめん羊・山羊
- ※4 生体検査において、削瘦、被毛粗剛、脱毛、そう痒症、関節炎、異常行動、運動失調等の臨床症状を呈するめん羊・山羊

第9表 動物由来感染症実態調査実施状況（検査項目・検体別）

検査所					陽性の内容	
検査項目			検体数	陽性数		
腸管出血性大腸菌	牛	枝肉	96	—		
		肝臓	48	—		
		腸内容物	48	—		
	馬	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	緬羊	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	豚	体表				
		枝肉				
		腸内容物				
	食鳥	と体				
		腸内容物				
	環境	と畜場内				
食鳥処理場内						
カンピロバクター	牛	腸内容物				
		胆汁	25	4	<i>C. jejuni</i> (3)、 <i>C. coli</i> (1)	
	食鳥	と体	16	1	<i>C. jejuni</i> (1)	
		肝臓・腸内容物				
環境	食鳥処理場内	4	—			
サルモネラ属菌	牛	枝肉	36	—		
		肝臓				
		腸内容物				
	馬	枝肉				
		肝臓				
	豚	枝肉	78	—		
		腸内容物				
	食鳥	と体	16	—		
肝臓・腸内容物						
環境	と畜場内					
	食鳥処理場内	4	—			
黄色ブドウ球菌	食鳥	と体	16	—		
		肝臓・腸内容物				
環境	食鳥処理場内					
糞便系大腸菌群	牛	枝肉	8	—		
		肝臓				
	馬	枝肉				
		肝臓				
環境	と畜場内					
合計			395	5		

※ 腸管出血性大腸菌は、O157、O26、O111を対象としたスクリーニング検査を行い、分離された菌株について、血清型等を詳細に検査した。検体数は、延べ検体数。



## 第 3 章 食 鳥 檢 查 統 計

第 1 表 認定小規模食鳥処理場確認状況（月・検査所別）

令和 2 年度

単位：件

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
総 数	処 理 場 数		20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	
	確 認 羽 数		2,535	2,235	3,167	3,332	2,738	2,880	3,132	3,828	4,320	3,006	2,778	3,120	37,071	
	異常の有無の確認	生 体 の 状 況	廃 棄			3							5	1		9
		体 表 の 状 況	全部廃棄	5	4	4	2		1			2	6	4	3	31
	一部廃棄		3	8		6	1				4	16	2		40	
	体壁の内側面の状況	廃 棄	10	3	8						1		1		23	
	内 臓 の 状 況	当該臓器のみ廃棄	1	7		2	3	3	1	2	6	9	7		41	
		内臓全部廃棄					3	1			2	1			7	
	廃 棄 羽 数 の 合 計	全部廃棄	15	7	15	2		1			3	11	6	3	63	
		一部廃棄	4	15		8	7	4	1	2	12	26	9		88	
	施 設 指 導 件 数			1			1	3	2	1	4	1			13	
	依 頼 検 査 件 数															-
	上 田	処 理 場 数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
確 認 羽 数		1,037	1,018	884	1,316	879	798	793	862	1,417	1,353	1,043	823	12,223		
異常の有無の確認		生 体 の 状 況	廃 棄										5	1		6
		体 表 の 状 況	全部廃棄	5	4	2	2		1			2	6	4	3	29
一部廃棄			3	8		6	1				4	16	2		40	
体壁の内側面の状況		廃 棄	10	3	8						1		1		23	
内 臓 の 状 況		当該臓器のみ廃棄	1	7		2	1			1	4	9	7		32	
		内臓全部廃棄					2					1			3	
廃 棄 羽 数 の 合 計		全部廃棄	15	7	10	2		1			3	11	6	3	58	
		一部廃棄	4	15		8	4			1	8	26	9		75	
施 設 指 導 件 数						1	2	1		1	1			6		
依 頼 検 査 件 数															-	

単位：件

			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計		
松	処 理 場 数		14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
	確 認 羽 数		620	605	1,315	1,200	1,200	1,480	1,410	1,410	1,410	1,410	1,010	1,010	1,030	13,700	
	異常の有無の確認	生 体 の 状 況	廃 棄			3											3
		体 表 の 状 況	全部廃棄			2											2
			一部廃棄														-
		体 壁 の 内 側 面 の 状 況	廃 棄														-
	内 臓 の 状 況	当該臓器のみ廃棄						2	3	1	1	2					9
		内臓全部廃棄						1	1			2					4
	本	廃 棄 羽 数 の 合 計	全部廃棄			5											5
			一部廃棄					3	4	1	1	4					13
	施 設 指 導 件 数			1				1			3					5	
	依 頼 検 査 件 数															-	
長	処 理 場 数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
	確 認 羽 数		878	612	968	816	659	602	929	1,556	1,493	1,493	643	725	1,267	11,148	
	異常の有無の確認	生 体 の 状 況	廃 棄														-
		体 表 の 状 況	全部廃棄														-
			一部廃棄														-
		体 壁 の 内 側 面 の 状 況	廃 棄														-
	内 臓 の 状 況	当該臓器のみ廃棄															-
		内臓全部廃棄															-
	野	廃 棄 羽 数 の 合 計	全部廃棄														-
			一部廃棄														-
	施 設 指 導 件 数								1	1						2	
	依 頼 検 査 件 数															-	

## 第 4 章 リスクコミュニケーション事業

第 1 表 リスクコミュニケーション事業実施状況

令和 2 年度

検査所名	実施日	対象者	人数	実施内容
上田	令和 2 年 9 月 9 日～10 日	学生	2	獣医学生のインターンシップ受入れ（と畜検査業務体験）
松本	令和 2 年 6 月 4 日	行政	6	松本食肉衛生検査所及びと畜場視察
	令和 2 年 8 月 26 日	行政	2	松本食肉衛生検査所及びと畜場視察
	令和 2 年 9 月 30 日	医師	1	と畜場及び検査所の概要を説明後、場内案内
	令和 2 年 11 月 4 日	医師	1	と畜場及び検査所の概要を説明後、場内案内
長野	-	-	-	（実施なし）

## 第 5 章 調 査 研 究 業 績

## と畜場に搬入された乳用牛の地方病型牛伝染性リンパ腫の発生状況について

松本食肉衛生検査所 ○松下彩 小川みづほ 森谷毅 安田正美 久保田耕史

### 1 はじめに

地方病型牛伝染性リンパ腫（以下牛伝染性リンパ腫）は牛伝染性リンパ腫ウイルスを原因として発症する全身性の悪性リンパ腫である。発症した場合食欲不振や乳量低下等を起こすとともに、と畜場法においても全部廃棄対象疾病であることから生産農家にとって経済的損失は大きい。

近年、全国的に牛伝染性リンパ腫の届け出頭数が増加しており【1】、管内と畜場においても牛伝染性リンパ腫による牛の全部廃棄頭数が増加している。特にホルスタイン種及び繁殖用黒毛和種（以下乳用牛）での増加が認められているため、本調査では乳用牛の牛伝染性リンパ腫の発生状況および肉眼病変等についてまとめた結果を報告する。

### 2 材料および方法

（材料）平成 27 年度から令和元年度に管内と畜場に搬入された乳用牛（6,160 頭）のと畜検査結果データ、病畜検査記録簿、病理検査記録簿、牛の個体識別情報を材料とした。

（方法）平成 27 年度から令和元年度に管内と畜場に搬入された乳用牛のうち、牛伝染性リンパ腫として全部廃棄した頭数の割合（発生率）を年度及び品種別に調べた。また、品種別の搬入平均年齢も調べた。また、平成 28 年度から令和元年度において前年度比（次年度の発生率/前年度の発生率）による年度別の増減を調べた。また、平成 29 年度から令和元年度において生産地別（中信・南信・東信・北信）の発生率について調べた。

さらに、牛伝染性リンパ腫で全部廃棄したホルスタイン種（33 頭）および繁殖用黒毛和種（17 頭）について解体検査時に腫瘍病変が認められた割合（腫瘍化率）を臓器及びリンパ節別にまとめた。なお、臓器については心臓・腎臓・肝臓・脾臓・肺・第四胃・子宮・小腸・大腸、リンパ節については下顎リンパ節・縦隔リンパ節・内腸骨リンパ節・腸間膜リンパ節を対象とした。統計処理はカイ二乗検定を行った。

### 3 結果

#### （1）年度別発生率

乳用牛全体の発生率は平成 28 年度までは約 0.5%であったが徐々に増加し、平成 30 年度には 1%を超えた。前年度比はすべての年度で 1 を超え、平成 30 年度が約 1.7 で最大となった（図 1、図 4）。

ホルスタイン種の年度別発生率は平成 27 年度から平成 29 年度にかけては約 0.4%を横ばいに推移していた。平成 30 年度には 0.8%、

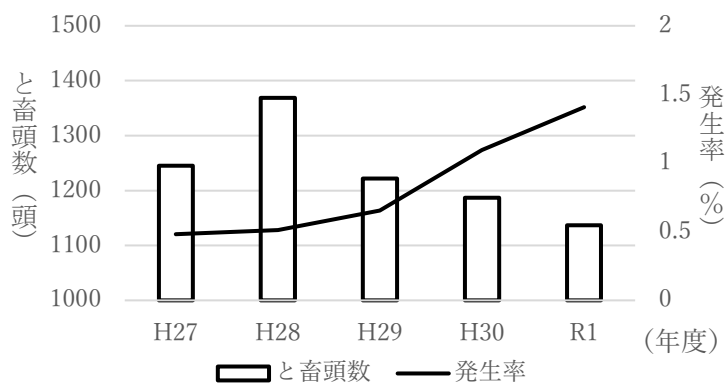


図 1 乳用牛の年度別発生率

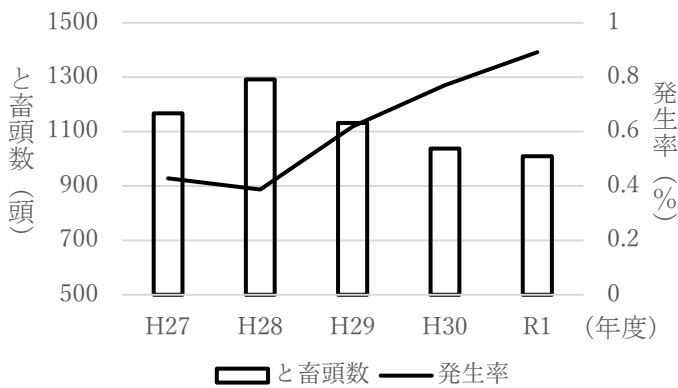


図2 ホルスタイン種の年度別発生率

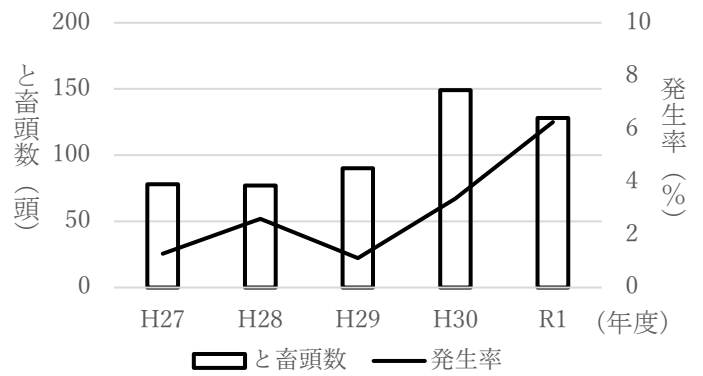


図3 繁殖用黒毛和種の年度別発生率

令和元年度は約0.9%となり、増加傾向が認められたが1%は超えなかった(図2)。前年度比は平成28年度以外1を超えており、平成29年度が約1.6で最大となった(図4)。搬入平均年齢は約5.5歳であった(表1)。

繁殖用黒毛和種の年度別発生率は全ての年度で1%を超え、ホルスタイン種よりも高くなった。平成30年度には3%、令和元年度には6%を超え、年々増加していた(図3)。前年度比は平成29年度以外が1.8を超えており、平成30年度が約3で最大となった(図4)。搬入平均年齢は平均10.4歳であった(表1)。

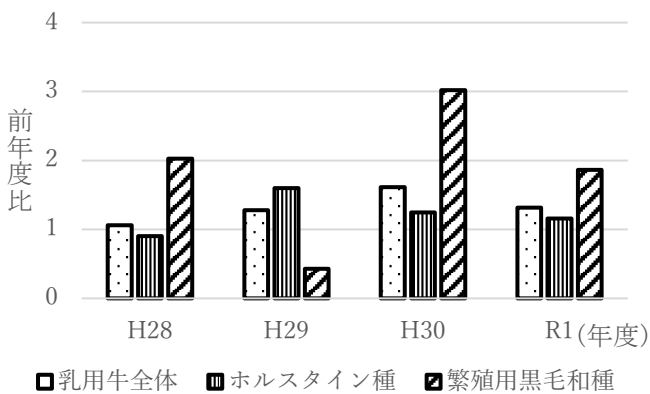


図4 品種別年度別の発生率の前年度比

(表1) 年度別搬入平均年齢(歳)

搬入年齢(歳)	H27	H28	H29	H30	R1
ホルスタイン種	5.5	5.5	5.5	5.4	5.4
繁殖用黒毛和種	11.2	10.5	10.6	9.2	10.5

## (2) 生産地別発生率

ホルスタイン種の生産地別発生率は、中信地域は平成29年度に約0.3%であったが、平成30年度に1%近くに上昇した。令和元年度は再び約0.3%となった。南信地域は0.8~1%を推移していた。東信地域は平成30年度までは発生がなかったが、令和元年度に約0.9%の発生率となった。北信地域は1~1.2%を推移していた。令和元年度には全ての生産地で発生が認められた(表2、図5)。

繁殖用黒毛和種の生産地別発生率は、中信地域は平成29年度に発生がなかったが平成30年度に約4%、令和元年度には約8%となった。南信地域は平成29年度に約2%、平成30年度に発生は認めら



れなかったが令和元年度に約4%となった。東信地域は平成30年度のみ約10%であった。北信地域も平成29年度は発生がなかったが平成30年度に10%、令和元年度に25%となった。繁殖用黒毛和種の発生率は年度や地域によってややばらつきが認められた(表3、図6)。

(表2) ホルスタイン種の生産地別発生頭数

生産地/年度	H29	H30	R1
中信	1 (382)	3 (324)	1 (287)
南信	5 (426)	4 (392)	4 (415)
東信	0 (231)	0 (241)	2 (229)
北信	1 (93)	1 (81)	1 (78)

(表3) 繁殖用黒毛和種の生産地別発生頭数

生産地/年度	H29	H30	R1
中信	0 (45)	2 (56)	5 (56)
南信	1 (29)	0 (60)	2 (44)
東信	0 (12)	2 (23)	0 (24)
北信	0 (4)	1 (10)	1 (4)

※表2, 3ともカッコ内の数字は生産地別のと畜頭数

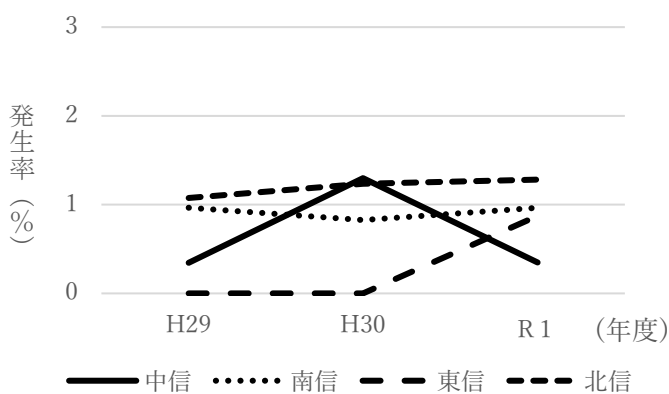


図5 ホルスタイン種の生産地別発生率

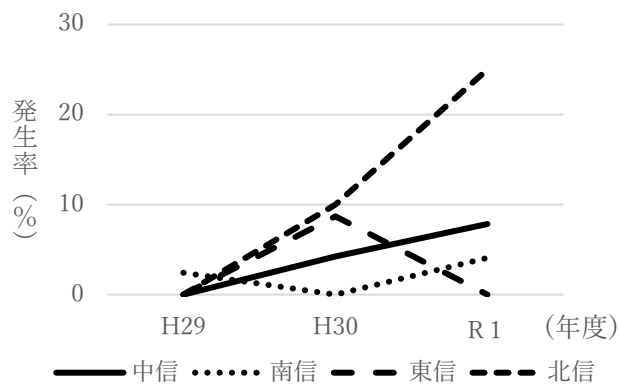


図6 繁殖用黒毛和種の生産地別発生率

### (3) 臓器およびリンパ節の腫瘍化率

臓器別の腫瘍化率はホルスタイン種が心臓、第四胃、腎臓の順で高く、繁殖用黒毛和種が心臓、第四胃、子宮の順で高かった。リンパ節の腫瘍化率は両品種ともが内腸骨リンパ節、腸間膜リンパ節、縦隔リンパ節の順で高くなった。品種別の腫瘍化率に有意差は認められなかった(表4)。

(表4) 臓器の腫瘍化率

(単位: %)

品種	臓器									リンパ節			
	心臓	腎臓	肝臓	脾臓	肺	第四胃	子宮	小腸	大腸	下顎	縦隔	腸間膜	内腸骨
ホルスタイン種	89	30	6	6	15	82	27	12	15	12	27	39	54
繁殖用黒毛和種	76	29	0	6	24	59	41	0	29	24	35	64	64

#### 4 考察

乳用牛の牛伝染性リンパ腫の発生率は平成27年度の約0.5%から年々上昇し、令和元年度には約1.4%となった。特に平成30年度に大きな上昇が認められ、繁殖用黒毛和種の発生率の上昇が影響していると考えられる。牛伝染性リンパ腫はウイルス感染後長期間を経て発症に至る。管内と畜場に搬入された繁殖用黒毛和種の平均年齢は10.4歳であり5.5歳であったホルスタイン種よりも高いため、必然的に発生率は高くなると考えられる。しかし、品種ごとの年度別搬入平均年齢に大きな差はなかったため、年齢以外の要因も発生率の上昇に影響していると考えられる。過去当検査所で行った調査では牛伝染性リンパ腫ウイルスの抗体陽性率が年々増加していると報告しており【2、3】、今回の調査から依然として牛伝染性リンパ腫ウイルスの感染率が全体的に上昇している可能性が考えられる。また、発症に関しては牛の免疫反応や飼養環境等宿主側の要因も大きいと言われており【4】、今回の調査における発生率の品種差や地域差も牛の免疫反応や飼養環境等の違いが影響している可能性が考えられる。

臓器及びリンパ節における腫瘍化率については、好発臓器およびリンパ節である心臓、第四胃、内腸骨リンパ節の順で高く、これらの部位には成書【5】に記載されている典型的な肉眼病変が認められることが分かった。今回の調査では品種別の腫瘍化率について有意差は認められなかったが、類似の調査では肝臓の腫瘍化率が黒毛和種で有意に高かったという報告もあり【6】、腫瘍化率に関しても飼養環境の違いをはじめとする様々な要因が関与していると考えられる。

#### 5 まとめ

過去および今回の調査により、と畜場での牛伝染性リンパ腫の発生率は今後さらに増加する可能性があり、特に繁殖用黒毛和種についてはより注意が必要である。

また、と畜検査にあたっては、好発部位・リンパ節を中心に病変を探すことが、より迅速かつ適正な検査につながると考えられる。今回の調査結果をもとに、年度・地域別発生率や好発部位等に関する資料を作成することで検査能力の伝達・維持に努めていきたい。

【1】農林水産省：監視伝染病発生年報

【2】松本食肉衛生検査所：管内と畜場における地方病型牛白血病の抗体保有状況および発生について（第3報）（2011）

【3】松本食肉衛生検査所：と畜場における地方病型牛白血病抗体保有状況とその遺伝子型調査について（2016）

【4】緑書房：臨床獣医10月号 座談会 牛白血病を考える～対策と取り組み～（2019）

【5】中央法規：新・食肉衛生検査マニュアル（2011）

【6】神奈川県食肉衛生検査所：牛白血病の疫学調査（2018）

## と畜検査における緬羊の眼房水からの血漿生化学値の推定

松本食肉衛生検査所 ○畑 大二郎、岡田 純子、堀川 朝広、森谷 毅、久保田 耕史

と畜検査における尿毒症と黄疸の数値的裏付けとして、緬羊の眼房水が血液の代替検体になり得るか調査した。と畜場に搬入されたサフォーク種 (*Ovis aries*) の緬羊 61 頭分の血漿と眼房水を用いて、各生化学値 (尿素窒素、クレアチニン、総ビリルビン) の測定後に相関分析と回帰分析を行った。測定値は血漿の方が眼房水中よりも高かった。尿素窒素では、去勢と雌群で共に高い相関係数と決定係数が認められた。クレアチニンでは、去勢群のみ高い相関係数と決定係数が認められた。総ビリルビンでは、相関関係が認められなかった。物質による血液房水関門の透過性や去勢と雌群の筋肉量の違い等が、異なる結果の要因であると考えられた。以上のことから、採血困難時には、眼房水を用いて緬羊の尿毒症を推定評価できるが、雌では精度の高いクレアチニン推定値を得にくいと考えられた。



Fig. 1. Suffolk sheep. 図1. サフォーク種.



Fig. 2. Aqueous humor collection. 図2. 眼房水採取.

Table 1. Means and standard deviations for biochemical concentrations in plasma and aqueous humor in sheep (n=61). 表1. 羊における血漿と眼房水中の生化学値の平均値と標準偏差 (n=61).

Parameter	Sex	PL		AH		AH/PL	p
		Mean±SD	(Range)	Mean±SD	(Range)	%	
UN (mg/dL)	Total (n=61)	17.30±3.58	(9.80-26.90)	14.72±3.17	(8.40-24.60)	85	<0.001
	Wether (n=29)	16.58±3.57	(9.80-24.40)	13.92±2.90	(8.40-20.70)	84	0.002
	Ewe (n=31)	17.94±3.51	(11.60-26.90)	15.40±3.26	(9.80-24.60)	86	0.003
CRE (mg/dL)	Total	0.96±0.15	(0.65-1.41)	0.37±0.07	(0.28-0.61)	39	<0.001
	Wether	1.00±0.17	(0.68-1.41)	0.37±0.06	(0.29-0.54)	37	<0.001
	Ewe	0.93±0.14	(0.65-1.26)	0.37±0.07	(0.28-0.61)	40	<0.001
TBIL (mg/dL)	Total	0.17±0.09	(0.10-0.50)	0.10	(0.10)	59	<0.001
	Wether	0.16±0.07	(0.10-0.30)	0.10	(0.10)	63	<0.001
	Ewe	0.19±0.10	(0.10-0.50)	0.10	(0.10)	53	<0.001

Total included 1 ram, 29 wether, and 31 ewe. 全頭は雄1、去勢29、そして雌31頭を含む。

PL: plasma; AH: aqueous humor; p: p value; SD: standard deviation; UN: urea nitrogen; CRE: creatinine; TBIL: total bilirubin. A value p<0.05 was chosen for statistical significance between PL and AH.

Table 2. Correlation and regression analyses for biochemical parameters in sheep (n=61). 表2. 羊における生化学値の相関分析と回帰分析 (n=61).

Parameter	Sex	r	p	Regression equation	R <sup>2</sup>	p
UN	Total (n=61)	0.967	<0.001	y=1.0916x-1.2353	0.935	<0.001
	Wether (n=29)	0.972	<0.001	y=1.1961x-0.0669	0.945	<0.001
	Ewe (n=31)	0.967	<0.001	y=1.0395x+1.9299	0.935	<0.001
CRE	Total	0.656	<0.001	y=1.4936x+0.4113	0.431	<0.001
	Wether	0.828	<0.001	y=2.2300x+0.1696	0.685	<0.001
	Ewe	0.537	0.002	y=0.9940x+0.5635	0.288	0.002
TBIL	Total	<0.001	1.000			
	Wether	<0.001	1.000			
	Ewe	<0.001	1.000			

Total included 1 ram, 29 wether and 31 ewe. 全頭は雄1、去勢29、そして雌31頭を含む。

UN: urea nitrogen; CRE: creatinine; TBIL: total bilirubin; r: correlation coefficient; R<sup>2</sup>: coefficient of determination; p: p value. A value p<0.05 was chosen for statistical significance. A correlation coefficient r>0.6 was considered as a strong relationship.

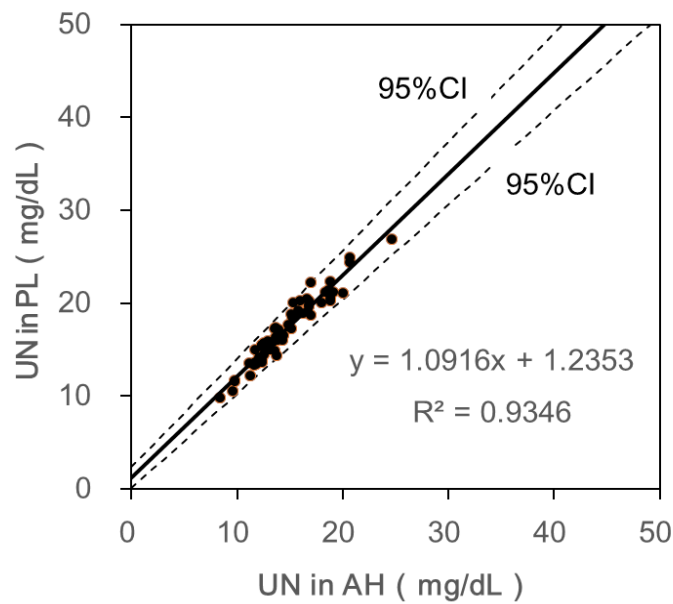


Fig. 3. Linear regression plot between values of urea nitrogen in plasma and aqueous humor in the total sheep group (n=61). 図3. 全頭群での血漿と眼房水中の尿素窒素値に関する回帰直線 (n=61) . UN: urea nitrogen; PL: plasma; AH: aqueous humor; CI: confidence interval; R<sup>2</sup>: coefficient of determination.

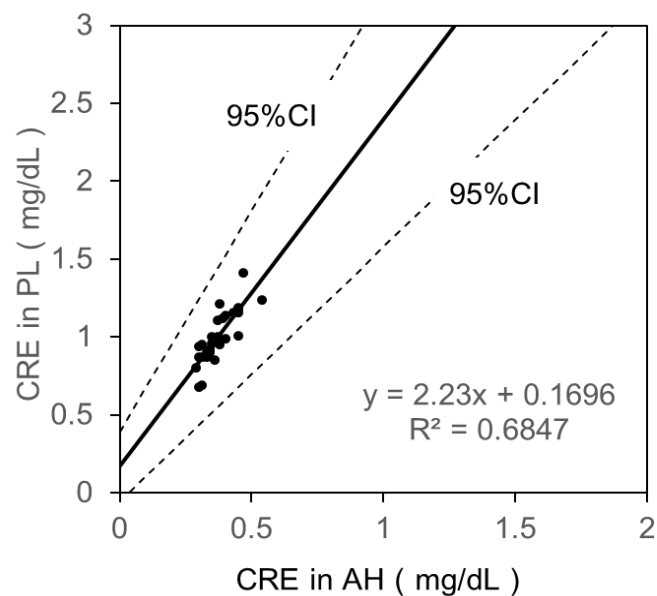


Fig. 4. Linear regression plot between values of creatinine in plasma and aqueous humor in the wether group (n=29). 図4. 去勢群での血漿と眼房水中のクレアチニン値に関する回帰直線 (n=29) . CRE: creatinine; PL: plasma; AH: aqueous humor; CI: confidence interval; R<sup>2</sup>: coefficient of determination.

## Estimation of Plasma Biochemical Values from Aqueous Humor of Sheep in Slaughter Inspection

Matsumoto meat hygiene inspection center ○Daijiro HATA, Junko OKADA, Yoshikazu FUJIMORI, Yae HANDA, Tomohiro HORIKAWA, Takuya IWAMA, Aya MATSUSHITA, Takeaki MIYASHITA, Tsuyoshi MORITANI, Mizuho OGAWA, Susumu YAMAKAWA, Masami YASUDA, Koshi KUBOTA

We investigated if the aqueous humor of sheep could become a substitute specimen of blood as a numerical proof both for uremia and icterus, in slaughter inspection. Using plasma and aqueous humor for 61 Suffolk sheep (*Ovis aries*) carried in to the slaughterhouse, we performed both correlation and regression analyses after the measurement of each biochemistry value (urea nitrogen, creatinine, total bilirubin). The plasma measurements were higher than the values in the aqueous humor. The high coefficient of correlation and the decision coefficient were detected in the urea nitrogen values both in the wether and the ewe groups. As for the creatinine values, the high coefficient of correlation and the decision coefficient were detected only in the wether group. No correlation was detected in the total bilirubin measurements. It was thought that the difference between the permeability for the blood aqueous barrier and the quantity of muscle in the groups was the factor of the different results. In conclusion, we would be able to estimate plasma biochemical values using aqueous humor and evaluate uremia of sheep even if blood is not available. However, it is hard to get a high creatinine estimate of precision in females.

Key Words : aqueous humor, biochemical values, plasma, sheep

最後に、この調査研究実施にあたり、ご協力いただいた松本食肉衛生検査所および長野県食肉公社の皆様へ感謝いたします。

## 第 6 章 参 考 资 料

I と畜検査頭数の推移

単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
明治								
35	7,232	1,878			4,934	419	1	
39	9,153	1,503			7,428	220	2	
42	7,948	1,452			5,323	1,171	2	
大正								
1	10,528	2,718		11	6,703	1,096		
5	12,067	2,519		45	7,966	1,537		
6	13,973	2,117		20	10,087	1,747	2	
7	14,358	1,820		13	9,854	2,670	1	
8	13,344	1,758		13	7,098	4,474	1	
9	14,855	1,888		29	6,014	6,917	7	
10	16,870	2,092		70	6,665	8,040	3	
11	15,490	2,317		57	7,462	5,654		
12	16,300	2,240		70	8,276	5,702	12	
13	19,494	2,176		41	8,323	8,952	2	
14	23,370	2,109		61	8,950	12,249	1	
昭和								
1	20,189	2,424		112	8,681	8,968	4	
2	17,227	2,230		149	7,661	7,185	2	
3	20,053	2,112		156	8,136	9,646	3	
4	22,317	1,890		110	8,080	12,232	5	
5	17,738	1,586		124	6,778	9,248	2	
6	16,848	1,423		104	6,953	8,364	4	
7	18,860	1,309		82	6,020	11,448	1	
8	19,045	1,337		68	7,282	10,356	2	
9	17,252	1,181		43	6,831	9,192	5	
10	18,593	1,101		44	7,505	9,932	2	9
11	20,937	1,185		62	7,611	12,074	1	4
12	19,665	1,704		106	6,095	11,708	11	41
13	18,469	2,016		107	3,426	12,838	11	71
14	22,471	2,016		121	4,375	15,906	14	39
15	27,788	2,475		140	5,723	19,276	12	162
16	16,907	3,970		130	2,591	9,830	39	347
17	11,153	2,711		125	1,449	6,227	143	498
18	10,603	3,276		372	3,546	2,866	65	478
19	8,481	2,165		368	4,637	942	32	337
20	4,853	1,454		258	2,337	594	5	205
21	7,374	4,052		67	2,435	660	2	158
22	8,220	2,697		69	3,149	1,935	11	359
23	11,164	3,108		99	3,641	4,078	33	205
24	16,504	2,312		249	3,507	10,298	32	106
25	22,916	4,005		380	5,062	13,406	17	46
26	28,349	3,278		708	5,612	12,545	204	6,002



単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
昭和								
27	45,779	2,604		956	6,563	25,963	774	8,919
28	48,104	2,989		227	5,632	31,161	959	7,136
29	45,225	3,445		1,939	6,827	23,531	789	8,694
30	44,606	5,167		3,203	6,206	22,565	1,016	6,449
31	55,966	5,556		3,432	6,945	29,322	2,126	8,585
32	73,295	3,134	1,623	4,282	5,647	38,220	5,684	14,705
33	86,611	2,662	1,940	5,455	4,983	44,349	6,394	20,828
34	104,886	2,720	2,560	5,625	5,449	53,712	10,675	24,145
35	101,891	2,616	3,868	6,115	5,791	43,292	12,205	28,004
36	117,609	2,402	1,584	6,371	5,956	60,937	11,225	29,134
37	155,049	2,300	1,467	7,394	5,886	105,033	5,228	27,741
38	158,756	3,587	2,670	9,198	6,935	106,688	2,971	26,707
39	169,249	3,811	3,277	10,523	7,417	114,605	1,391	28,225
40	211,220	3,447	2,747	8,950	6,108	161,415	1,088	27,465
41	266,292	1,923	1,952	4,496	3,318	225,160	754	28,689
42	290,407	1,248	1,939	3,882	3,219	234,408	542	45,169
43	257,864	1,012	2,353	5,501	4,301	205,818	426	38,453
44	258,491	1,186	2,699	10,146	5,029	201,047	246	38,138
45	291,539	1,606	2,753	8,081	5,020	239,688	295	34,096
46	301,667	1,946	2,434	3,135	4,449	262,924	323	26,456
47	301,420	2,387	2,793	1,059	3,267	267,328	240	24,346
48	318,661	1,450	3,012	585	2,204	292,926	16	18,468
49	345,251	1,460	4,574	4,179	2,186	322,512	25	10,315
50	326,796	1,955	3,911	1,536	2,544	310,529	22	6,299
51	317,215	1,986	3,503	882	3,012	306,406	48	1,378
52	368,879	2,218	4,646	1,267	2,818	356,883	36	1,011
53	390,668	2,559	5,722	832	1,795	378,724	70	966
54	414,201	2,416	6,819	669	1,234	402,478	140	445
55	422,207	1,946	9,077	689	986	409,145	174	190
56	402,629	1,799	11,413	660	820	387,576	199	162
57	418,851	1,973	12,200	618	809	402,783	341	127
58	416,181	1,953	12,540	532	847	399,750	458	101
59	404,931	1,924	13,431	534	844	387,485	598	115
60	430,319	2,488	14,094	377	823	411,645	791	101
61	411,823	2,895	13,451	325	745	393,416	932	59
62	387,212	2,941	15,518	223	494	366,779	1,074	183
63	355,812	2,989	15,193	169	383	336,031	1,018	29
平成								
元	337,350	3,428	13,324	144	330	318,948	1,157	19
2	329,066	4,023	12,540	140	300	310,771	1,260	32
3	312,596	4,894	11,937	113	294	294,144	1,194	20
4	292,816	5,708	11,405	116	318	274,461	795	13
5	281,828	6,129	11,977	101	464	262,417	714	26

単位：頭

年次	総数	牛		とく	馬	豚	めん羊	山羊
		肉用	乳用					
平成								
6	259,206	7,893	10,003	65	607	240,016	610	12
7	233,500	7,977	10,223	57	682	214,044	505	12
8	213,456	7,563	9,950	56	491	194,998	387	11
9	214,754	8,227	8,943	44	498	196,657	376	9
10	213,007	9,313	8,112	57	576	194,576	361	12
11	202,189	9,536	6,947	36	818	184,550	284	18
12	199,927	9,909	5,952	17	786	182,971	270	22
13	183,146	8,787	3,335	12	371	170,332	282	27
14	180,074	9,880	2,616	6	473	166,804	245	50
15	194,929	8,705	4,650	15	304	180,973	233	49
16	199,967	8,570	4,874	26	236	185,868	336	57
17	192,236	8,681	4,918	16	146	178,152	286	37
18	189,971	8,659	4,696	7	126	176,210	234	39
19	189,903	8,703	4,375	8	359	176,135	250	73
20	184,055	8,365	3,849	10	546	170,967	233	85
21	184,466	8,034	3,218	7	632	172,223	247	105
22	181,296	7,746	2,949	10	655	169,587	271	78
23	173,302	7,440	2,924	9	512	162,091	277	49
24	166,758	7,241	2,291	23	165	156,717	261	60
25	163,415	7,102	2,080	11	48	153,871	263	40
26	149,736	7,175	2,059	10	34	140,142	265	51
27	152,902	6,635	2,182	15	43	143,724	256	47
28	151,615	6,443	2,231	9	43	142,557	275	57
29	150,382	6,453	2,115	12	46	141,443	246	67
30	149,806	6,469	1,946	9	48	141,017	244	73
令和								
元	129,437	6,083	1,818	10	39	121,144	274	69
2	140,697	5,958	1,662	10	47	132,712	267	41

平成13年以降は年度

II 廃棄処分頭数（全部・一部）の推移

単位：頭

年次	総数		牛		とく		馬		豚		めん羊		山羊	
	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部
昭和														
46	73	129,915	32	1,743	4	189	1	690	32	126,657		20	4	616
47	91	144,368	21	2,036	1	114	1	588	68	141,230		5		395
48	97	149,926	26	1,988	3	148		317	68	147,073		5		395
49	100	172,302	20	2,383	4	218		377	75	169,072		2	1	250
50	94	168,758	31	2,045	6	151		459	56	165,836		1	1	266
51	95	171,372	23	1,953	3	163		419	69	168,689		9		139
52	190	200,350	24	2,475	8	167	2	220	156	197,402				86
53	153	215,202	45	2,676	7	249		78	101	212,178				21
54	201	241,067	37	2,665	14	231	1	35	148	238,114			1	22
55	265	290,395	53	3,140	11	263		63	201	286,904		2		23
56	227	289,231	83	4,997	8	265		78	136	283,872		2		17
57	228	291,714	59	5,758	12	266		84	156	285,582	1	14		10
58	273	310,323	87	6,261	10	320		145	173	303,532		43	3	22
59	348	308,063	138	6,486	15	304	1	101	192	301,085	2	63		24
60	447	330,312	143	8,230	11	251	1	150	289	321,483	3	151		47
61	522	337,991	152	10,403	7	258		166	356	326,953	4	191	3	20
62	530	333,253	150	12,780	12	193		174	364	319,814	4	256		36
63	706	312,426	189	15,274	12	152		155	501	296,585	4	250		10
平成														
元	525	277,473	155	14,154	9	123	1	166	356	262,744	4	271		15
2	566	282,687	222	15,006	5	127		135	338	267,066	1	337		16
3	673	266,362	312	14,678	9	93		137	351	251,151	1	291		12
4	691	253,508	275	15,612	5	102	1	189	405	237,399	5	200		6
5	576	240,392	226	16,216	7	72		324	341	223,483	1	284	1	13
6	643	226,049	238	15,876	3	52	2	424	399	209,453	1	239		5
7	560	201,837	205	16,268	3	45	1	422	348	184,957	2	142	1	3
8	625	183,464	238	15,351	6	40		311	380	167,642	1	116		4
9	467	182,886	186	15,501	3	24	3	321	275	166,922		118		
10	510	174,636	233	15,826	1	42	3	462	272	158,215	1	84		7
11	459	166,370	242	15,491	1	22	4	769	211	150,001		83	1	4
12	455	174,844	199	15,130		14	2	756	254	158,846		87		11
13	358	160,381	103	11,718	1	10	1	340	253	148,249		57		7
14	213	153,503	50	11,927		5		406	163	141,102		49		14
15	486	154,281	230	12,288		14		238	256	141,666		60		15
16	368	160,238	159	12,439	2	19	2	170	205	147,524		75		11
17	360	153,486	134	12,685		15		72	225	140,681	1	31		2
18	324	156,129	99	12,259		6		73	225	143,742		45		4
19	298	156,912	100	12,139		8		246	197	144,462	1	55		2
20	256	152,108	77	11,412		9	1	437	178	140,201		38		11
21	390	168,545	66	10,740	1	5	1	522	321	157,203	1	48		27
22	426	157,089	103	10,085		9	1	538	320	146,391	2	46		20
23	406	146,533	109	9,786	1	6	1	413	295	136,279		39		10
24	220	141,077	78	9,097	2	16	3	141	137	131,772		34		17
25	252	138,829	80	8,684		10	1	41	171	130,038		50		6

単位：頭

年次	総数		牛		とく		馬		豚		めん羊		山羊	
	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部
平成														
26	256	126,863	70	8,709		7		32	186	118,056		49		10
27	254	128,633	64	8,449		13		36	190	120,082		44		9
28	275	118,760	76	8,357	1	7		36	197	110,281	1	67		12
29	269	116,803	50	8,271		11	1	39	217	108,405	1	51		26
30	191	119,062	62	8,138		8		42	129	110,800		55		19
令和														
元	186	105,014	46	7,698	1	8		33	138	97,191	1	59		25
2	222	115,050	82	7,346	1	7		35	137	107,591	2	64		7

平成13年以降は年度

### Ⅲ 長野県のと畜場統廃合整備のあゆみ

